
太子町公共施設に関する アンケート調査結果報告書

令和 8 年 9 月

太子町

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査対象・調査方法	1
3 回収状況	1
4 集計方法	2
5 集計・分析上の留意事項	2

II アンケート結果の総括(概要)3

III アンケート集計結果

1 回答者属性

(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 居住小学校区	4
(4) 居住年数	5
(5) 世帯構成	5

2 公共施設の利用状況

(1) 公共施設の利用頻度【問 1-1】	6
(2) 公共施設の利用が少ない理由【問 1-2】	14

3 公共施設の改善点

(1) 公共施設の改善点【問 2】	15
-------------------------	----

4 公共施設の見直しに対する考え方

(1) 公共施設の見直しの際に大切にすべき視点【問 3】	22
(2) 公共施設の見直しの進め方【問 4】	25
(3) 将来的に施設を減らす場合の考え方【問 5】	28

IV アンケート調査票(参考資料) 31

I 調査概要

1 調査目的

太子町では、公共施設の老朽化などの課題に対応するため、平成 29 年 3 月に「太子町公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の適正な管理に取り組んできました。現在、第 1 期計画が終了することから、次期計画の策定に向けた改訂を進めています。

人口減少の進行に伴い、公共施設の更新や維持管理に係る財政負担の増大が懸念される中、すべての施設をこれまでと同じように維持していくことは難しくなることが想定されます。

一方で、公共施設は町民生活を支える重要な役割を担っており、将来にわたって安心して快適に利用できる環境を確保していくことも必要です。そのため、施設の利便性を高めながら、持続可能な公共施設のあり方を検討していくことが求められています。

こうしたことから、本調査は、町民のみなさまの公共施設の利用状況や改善してほしい点、将来の公共施設のあり方に対する考えを把握し、今後の公共施設のあり方を検討するとともに、太子町公共施設等総合管理計画の改訂に向けた基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象・調査方法

項目	内容
アンケート名称	太子町公共施設に関するアンケート調査
調査対象	満 18 歳以上の町民 2,000 人(無作為抽出)
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送又は Web
調査期間	令和 8 年 6 月 25 日～令和 8 年 7 月 31 日

3 回収状況

項目	数量
発送数/うち未達数	2,000 通 / 8 通
到達数	1,992 通
郵送による回答/Web による回答	455 件 / 316 件
回収数(合計)	771 件
うち、全項目無回答	3 件
有効回答数	768 件
有効回答率 (※未達を除いた到達数を母数として算出)	38.6%

4 集計方法

アンケートの各設問について単純集計を行うとともに、回答者の属性による傾向を把握するため、必要に応じて年齢別、居住校区別等のクロス集計を行い、グラフや表を用いて分析しています。

なお、クロス集計については、すべての設問・属性について一律に掲載するのではなく、回答傾向に特徴がみられるものや、今後の公共施設のあり方を検討する上で参考となるものを中心に掲載しています。

各設問の内容及び回答方法は、次のとおりです。

No.	設問	回答方法
1-1	公共施設の利用頻度	単一回答
1-2	公共施設の利用が少ない理由	単一回答
2	公共施設の改善点	複数回答
3	公共施設の見直しの際に大切にすべき視点	複数回答(3 つまで)
4	公共施設の見直しの進め方	複数回答(3 つまで)
5	将来的に施設を減らす場合の考え方	複数回答(2 つまで)
6	(回答者の)性別	単一回答
7	(回答者の)年齢	単一回答
8	(回答者の)居住小学校区	単一回答
9	(回答者の)居住年数	単一回答
10	(回答者の)世帯構成	単一回答

5 集計・分析上の留意事項

- ・ 集計結果の割合(%)は、原則として各設問の有効回答数を母数として算出しています。
- ・ 割合は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しているため、各項目の割合の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問では、回答者 1 人が複数の選択肢を選択できるため、各項目の回答数の合計が回答者数を上回る場合があります。
- ・ 図表中の「n」は、当該設問の集計対象となる有効回答数を表しています。
- ・ グラフの選択肢は、原則として回答割合の高い順に掲載しています。
- ・ 空欄及び未回答は、原則として当該設問の割合の算定対象から除いています。ただし、回答選択肢として「無回答」が設定されている設問については、「無回答」を有効な回答として集計し、割合の算定対象に含めています。
- ・ ネーミングライツにより愛称が設定されている施設については、本アンケート及び本報告書では施設名称で表記しています。

Ⅱ アンケート結果の総括(概要)

1 公共施設の利用状況

12 施設中 10 施設で「ほとんど利用したことがない」が 7 割を超えており、全体として公共施設の利用頻度は低い傾向にあります。利用が少ない理由は、すべての施設で「利用の必要がない」が 7 割以上を占めています。一方、全体の利用割合が低い施設でも特定の年代では一定の利用がみられるなど、施設の機能や利用目的によって利用状況に違いがみられます。

2 公共施設の改善点

利用が少ない理由として「施設やサービス内容を知らない」が施設によっては 2 割前後を占めており、改善点では多くの施設で「情報発信」や「イベント・講座の充実」が上位となっています。このことから、利用頻度の低さには施設の認知度も関係しており、情報発信やサービス内容の充実など、既存施設の利用促進を図る余地があることがうかがえます。

3 公共施設の見直しで大切にすべき視点

見直しで大切にすべき視点では、「利用状況・今後の利用見込み」が 54.1%と最も高く、次いで「防災機能」46.5%、「さまざまな人の利用しやすさ」44.8%となっています。このことから、施設の利用状況を基本としながらも、防災機能や幅広い人の利用しやすさなど、施設が地域で果たす役割も重視されていることが分かります。

4 公共施設の見直しの進め方

見直しの進め方では、「民間・地域と連携した利活用検討」が 47.5%と最も高く、次いで「集約化・複合化」38.9%、「廃止・用途転換」36.7%、「維持・改修」35.9%となっています。特定の手法に意向が集中していないことから、施設の利用状況や役割に応じて、複数の手法を検討していくことが求められています。

5 将来的に施設を減らす場合の考え方

将来的に施設を減らす場合には、「利用者が少ない施設」が 55.7%と最も高く、次いで「同じような機能を持つ施設が重複している場合」38.5%、「維持・管理に多くの費用がかかっている施設」29.0%となっています。このことから、施設を減らす場合には、利用状況が主要な判断基準として重視され、その上で機能の重複や維持管理費も考慮することが求められています。

6 調査結果からみた今後の公共施設の方向性

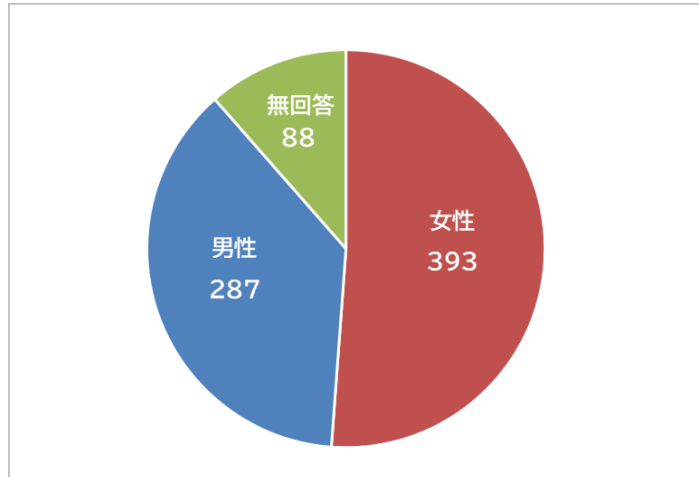
今回の調査から、公共施設の見直しに当たっては、利用状況や今後の利用見込みを基本としながら、防災機能など施設が地域で果たす役割も踏まえて判断することが重視されていることが分かりました。

今後は、利用が少ない施設について、まずは情報発信の充実や民間・地域との連携などによる有効活用の可能性を検討し、その上で、将来需要や機能の重複、維持管理コスト等を踏まえ、集約化・複合化、用途転換、廃止など、それぞれの施設に適した見直しを進めていく必要があります。

Ⅲ アンケート集計結果

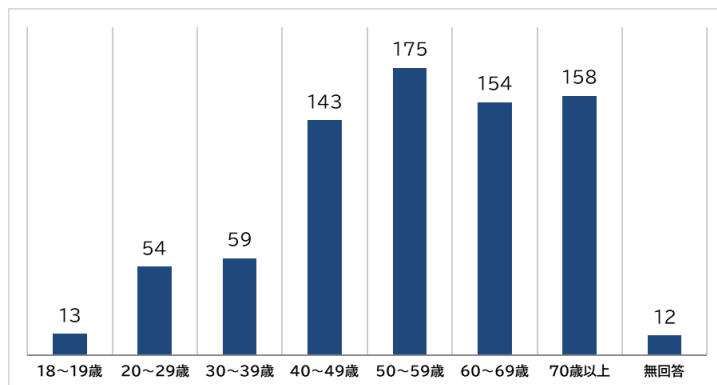
1 回答者属性 (n=768)

(1) 性別



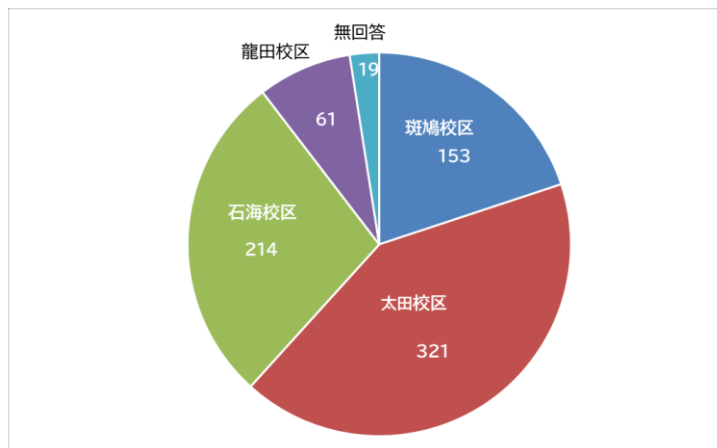
性別区分	回答数	構成比
女性	393	51.2%
男性	287	37.4%
無回答	88	11.4%

(2) 年齢



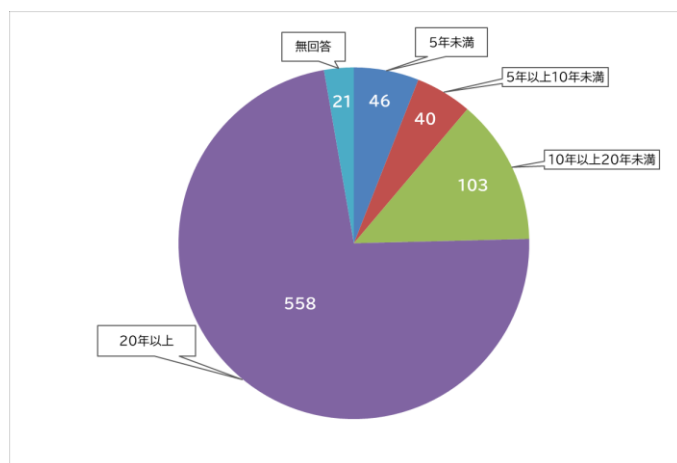
年齢区分	回答数	構成比
18～19歳	13	1.7%
20～29歳	54	7.0%
30～39歳	59	7.7%
40～49歳	143	18.6%
50～59歳	175	22.8%
60～69歳	154	20.0%
70歳以上	158	20.6%
無回答	12	1.6%

(3) 居住小学校区



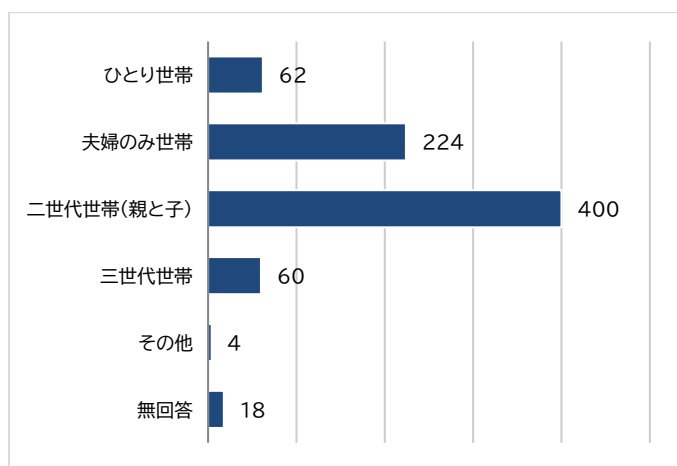
区分	回答数	構成比
斑鳩校区	153	19.9%
太田校区	321	41.8%
石海校区	214	27.9%
龍田校区	61	7.9%
無回答	19	2.5%

(4) 居住年数



区分	回答数	構成比
5年未満	46	6.0%
5年以上10年未満	40	5.2%
10年以上20年未満	103	13.4%
20年以上	558	72.7%
無回答	21	2.7%

(5) 世帯構成



区分	回答数	構成比
ひとり世帯	62	8.1%
夫婦のみ世帯	224	29.2%
二世帯世帯(親と子)	400	52.1%
三世帯世帯	60	7.8%
その他	4	0.5%
無回答	18	2.3%

2 公共施設の利用状況

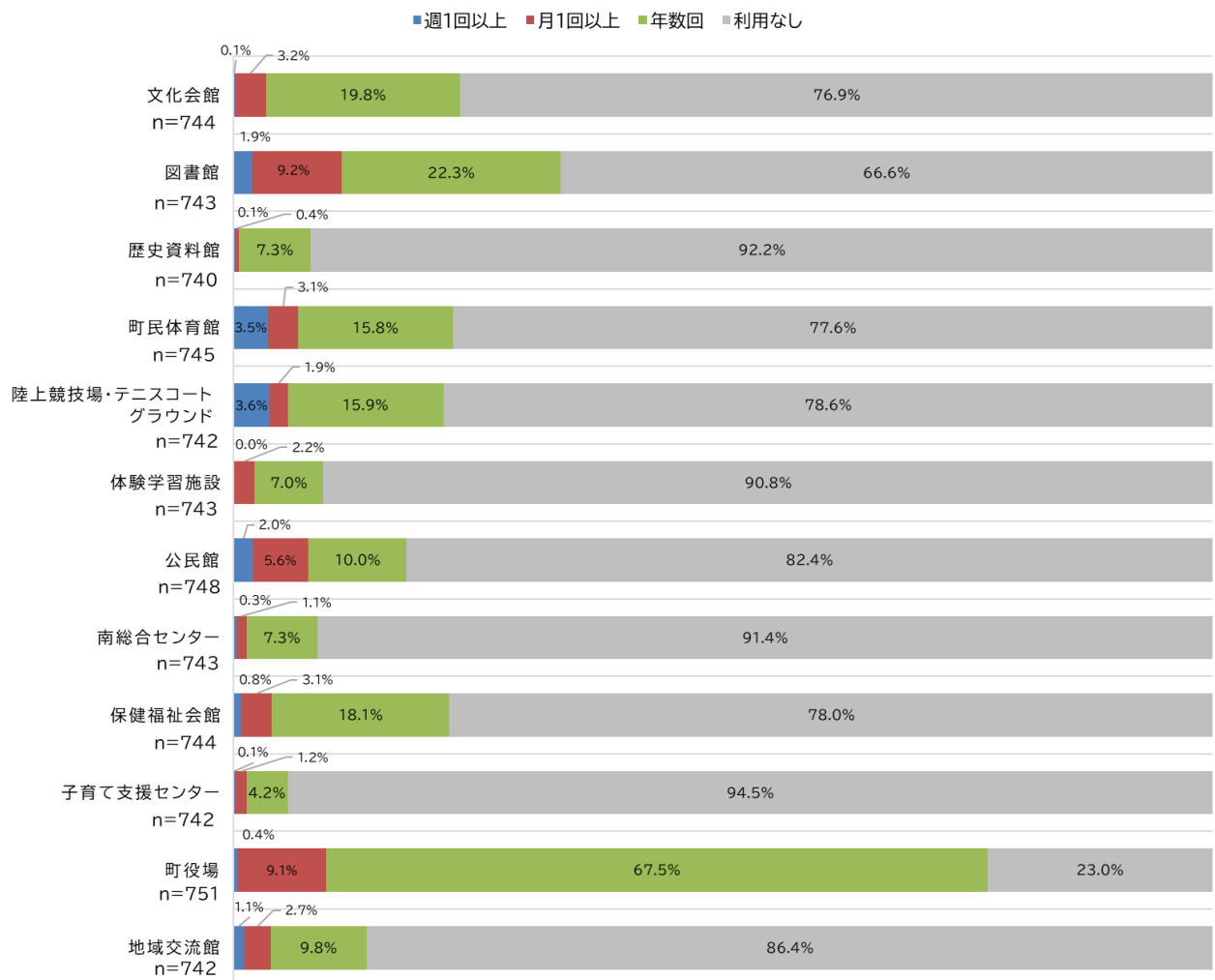
(1) 公共施設の利用頻度【問 1-1】

問 1-1 あなたは、過去 1 年間に町内の公共施設をどのくらい利用しましたか。該当するものを 1 つ選び、○印をつけてください。(ただし、家族の送迎といった利用は除きます。)

※「文化会館・保健福祉会館・陸上競技場」については、令和 7 年度は改修工事中のため、令和 6 年度の利用状況についてお答えください。

「週 1 回以上」「月 1 回以上」「年に数回程度」のいずれかを回答した利用者の割合は、町役場が 77.0%と最も高く、次いで図書館 33.4%、文化会館 23.1%、町民体育館 22.4%、保健福祉会館 22.0%となっています。また、「週 1 回以上」または「月 1 回以上」と回答した比較的高い回答者の割合をみると、図書館が 11.1%と最も高く、次いで町役場 9.5%、公民館 7.6%、町民体育館 6.6%、陸上競技場・テニスコート・グラウンド 5.5%となっており、これらの施設では定期的・継続的に利用する層が比較的多くみられます。全体的には、「年に数回程度利用する」または「ほとんど利用したことがない」とする回答が多く、10 施設で「ほとんど利用したことがない」が 7 割を超えています。

このことから、日常的・継続的に公共施設を利用している人は限られており、町役場など利用者の割合が比較的高い施設についても、利用頻度としては年に数回程度が中心となっています。全体として、公共施設の利用は低い傾向にあることがうかがえます。



【年代別にみた利用傾向】

年代別にみると、町役場は幅広い年代で利用されており、年代を問わず利用される施設となっています。

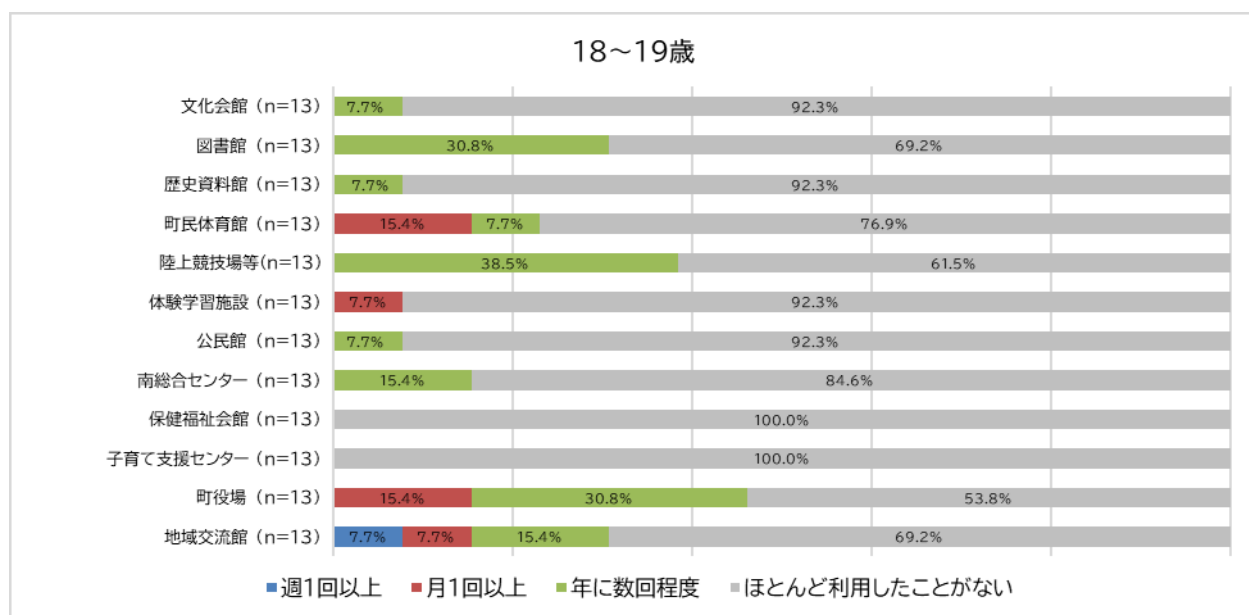
一方、施設によって利用が多い年代には違いがみられます。図書館や子育て支援センター、町民体育館などでは30～40歳代の利用が比較的多く、公民館や文化会館、歴史資料館などでは高齢層の利用が比較的多くなっています。また、保健福祉会館では30歳代と70歳以上の利用が比較的多いなど、施設の機能や利用目的によって異なる傾向がみられます。

また、全年代の集計で「ほとんど利用したことがない」が8割を超える施設であっても、年代別にみると一定の利用がみられます。特に、公民館では70歳以上の39.4%が利用しているほか、子育て支援センターでは30歳代の25.9%、地域交流館では18～19歳の30.8%が利用するなど、全体の利用割合だけでは捉えにくい年代ごとの利用傾向がみられます。

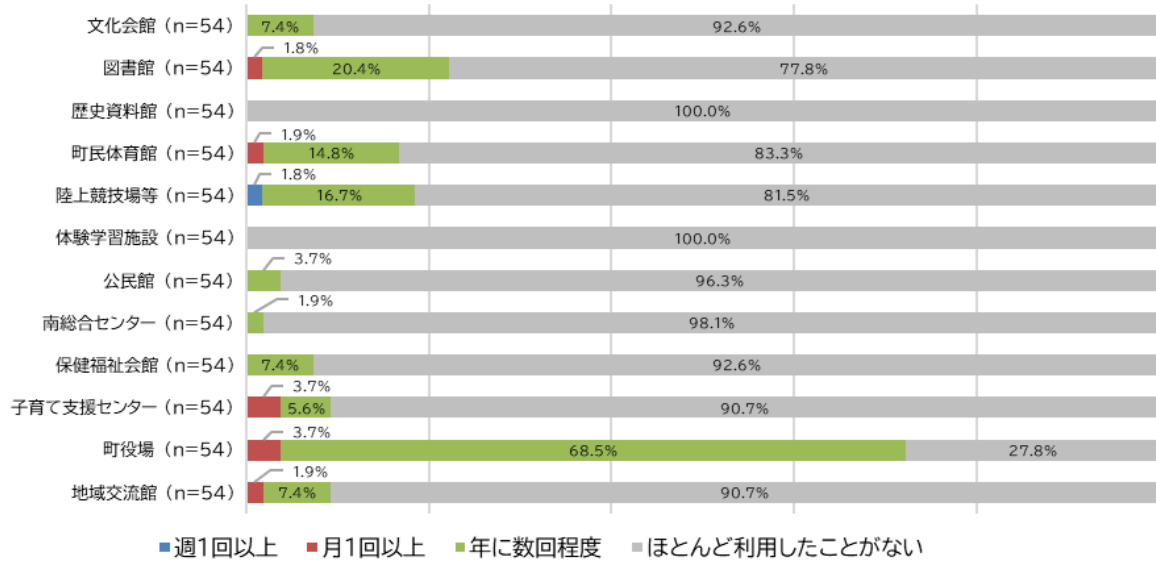
このように、公共施設の利用状況は年代によって異なっており、全体として利用割合が低い施設であっても、特定の年代では一定の利用がみられるなど、それぞれの年代の生活環境やライフステージ、施設に求める役割などが利用状況に反映されていることがうかがえます。

※18～19歳は回答者数が13人と少ないため、結果の解釈には留意が必要です。

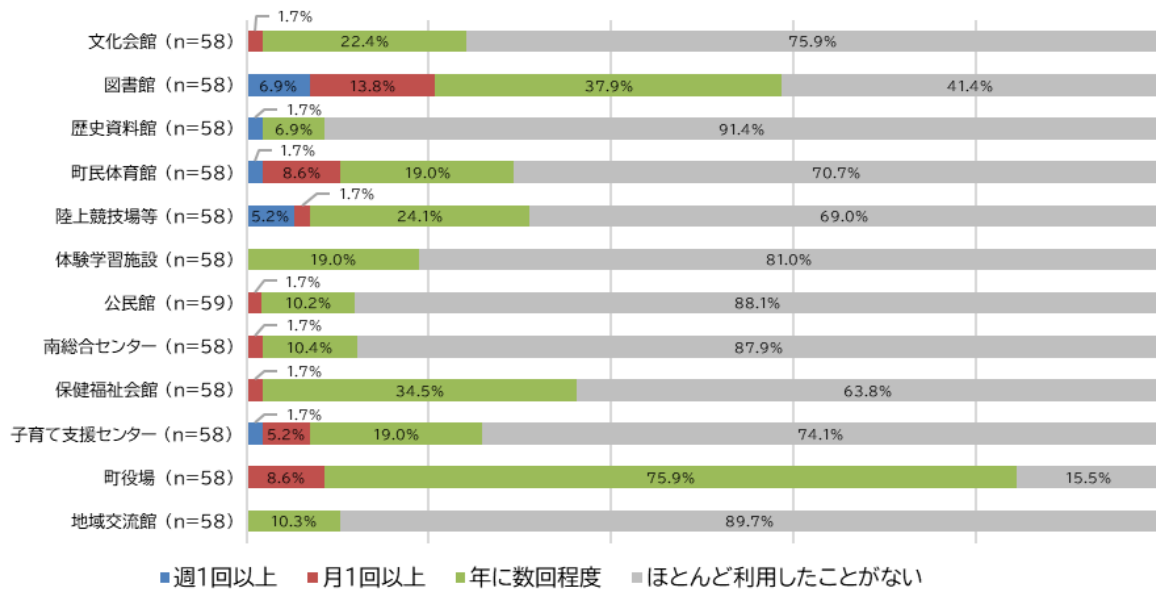
※年代別のグラフでは、「陸上競技場・テニスコート・グラウンド」を「陸上競技場等」と略して表記しています。



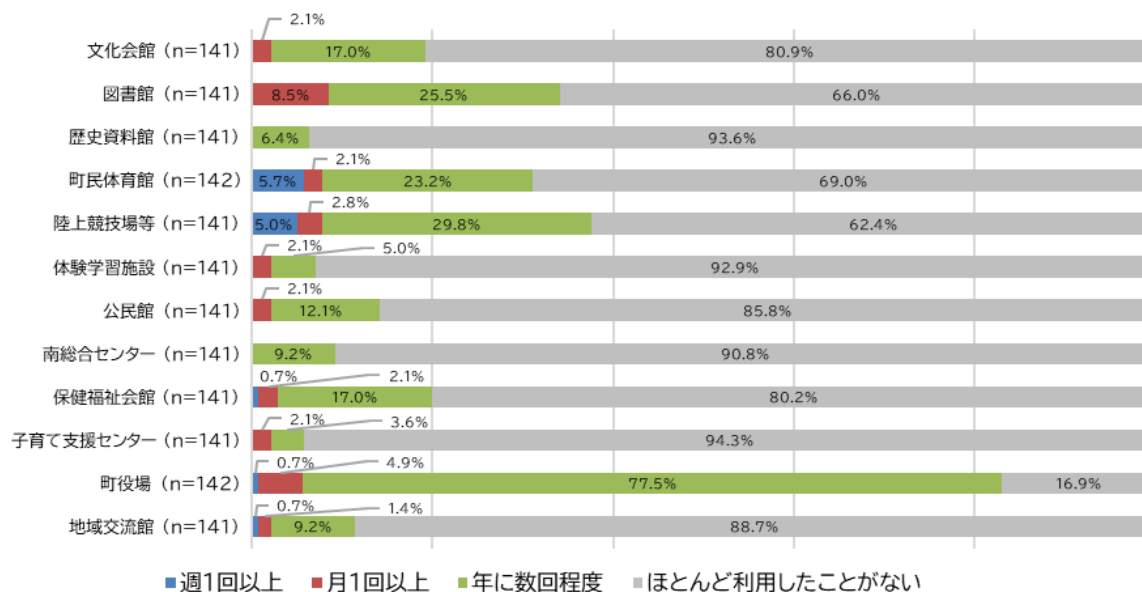
20～29歳



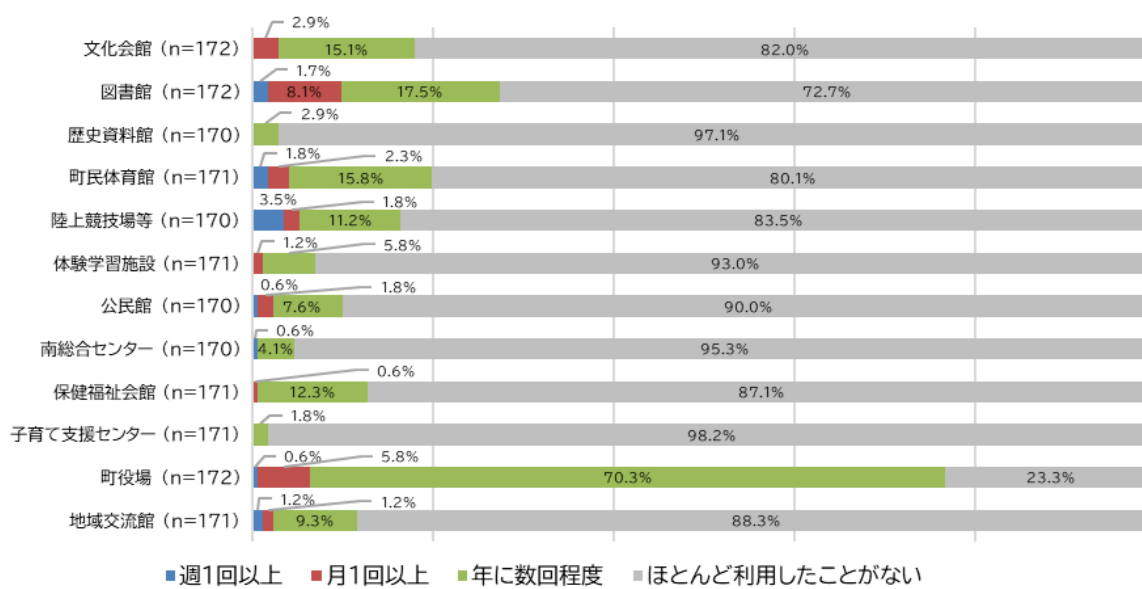
30～39歳



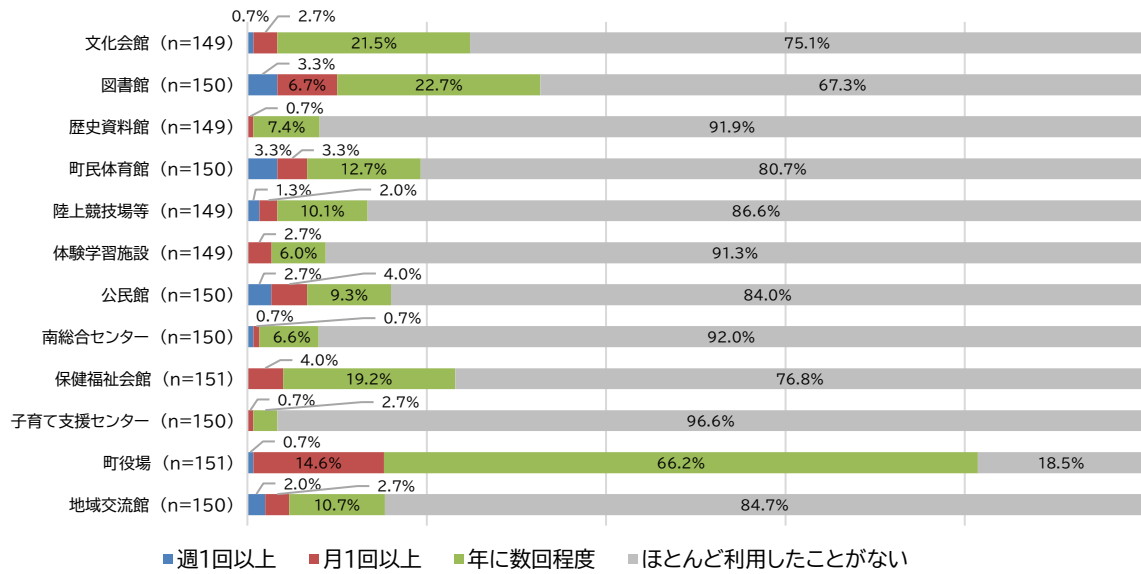
40～49歳



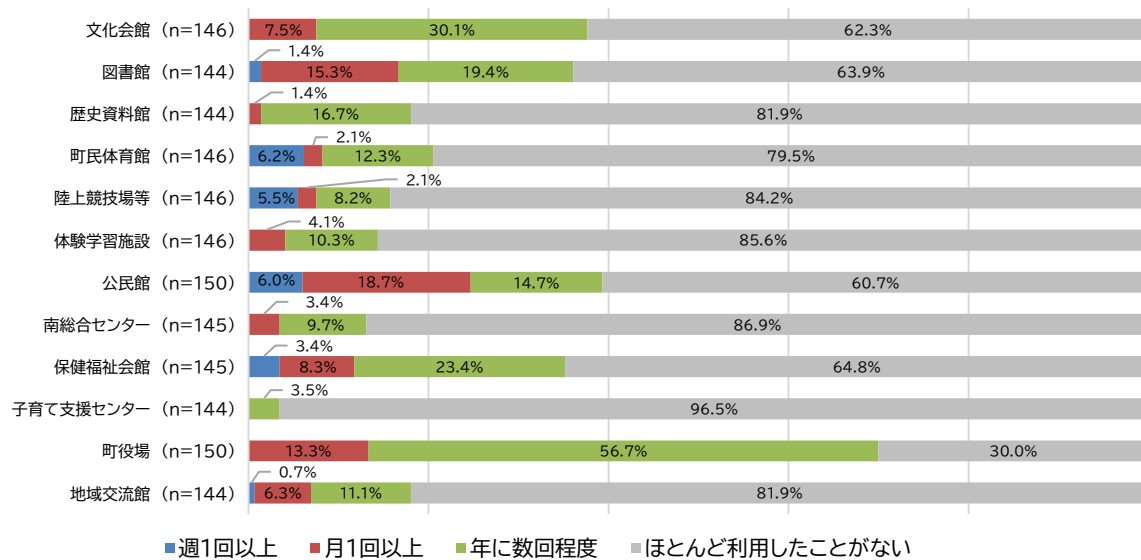
50～59歳



60～69歳



70歳以上

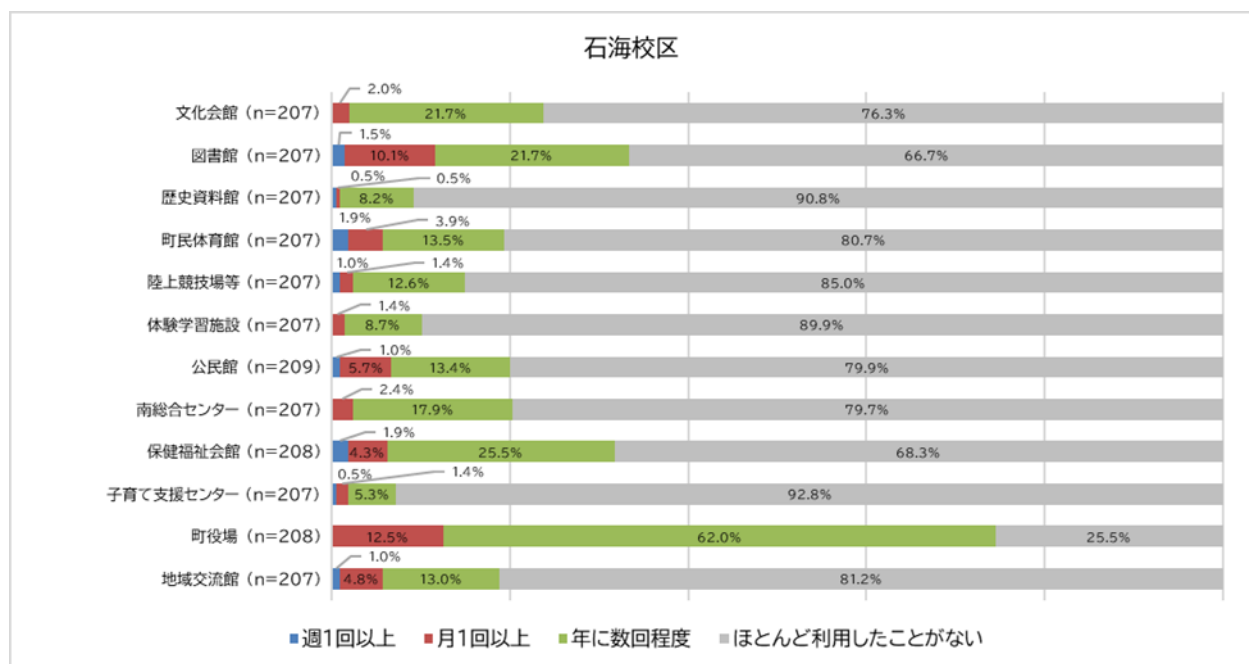
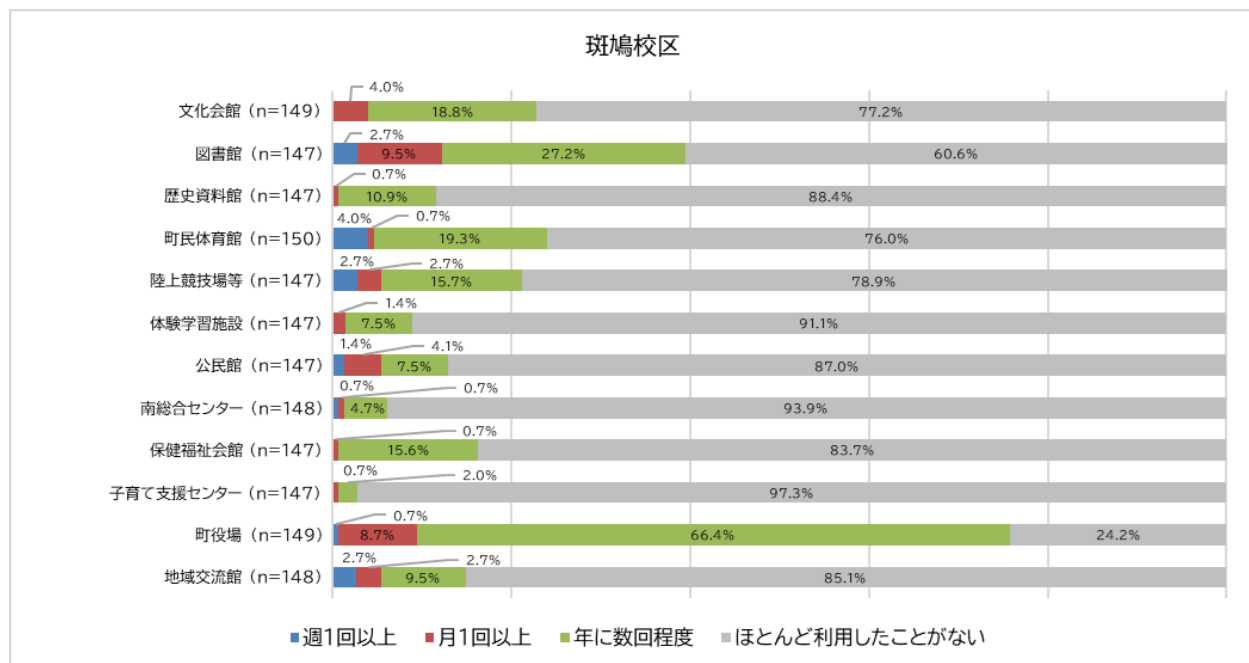


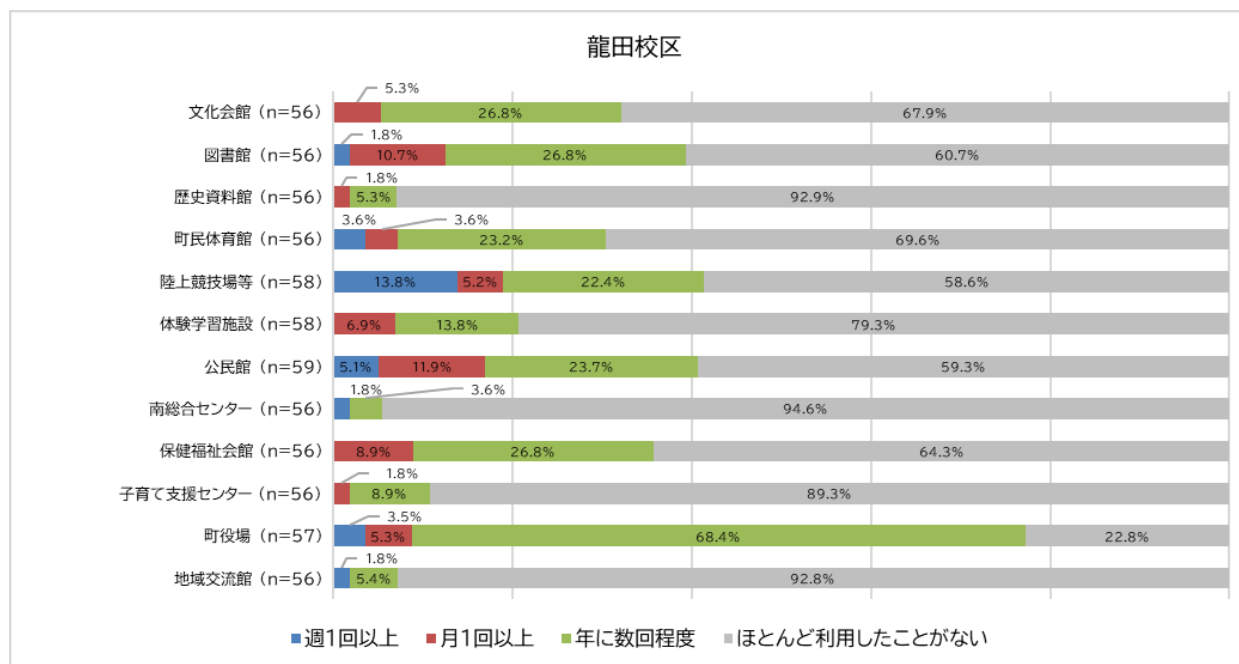
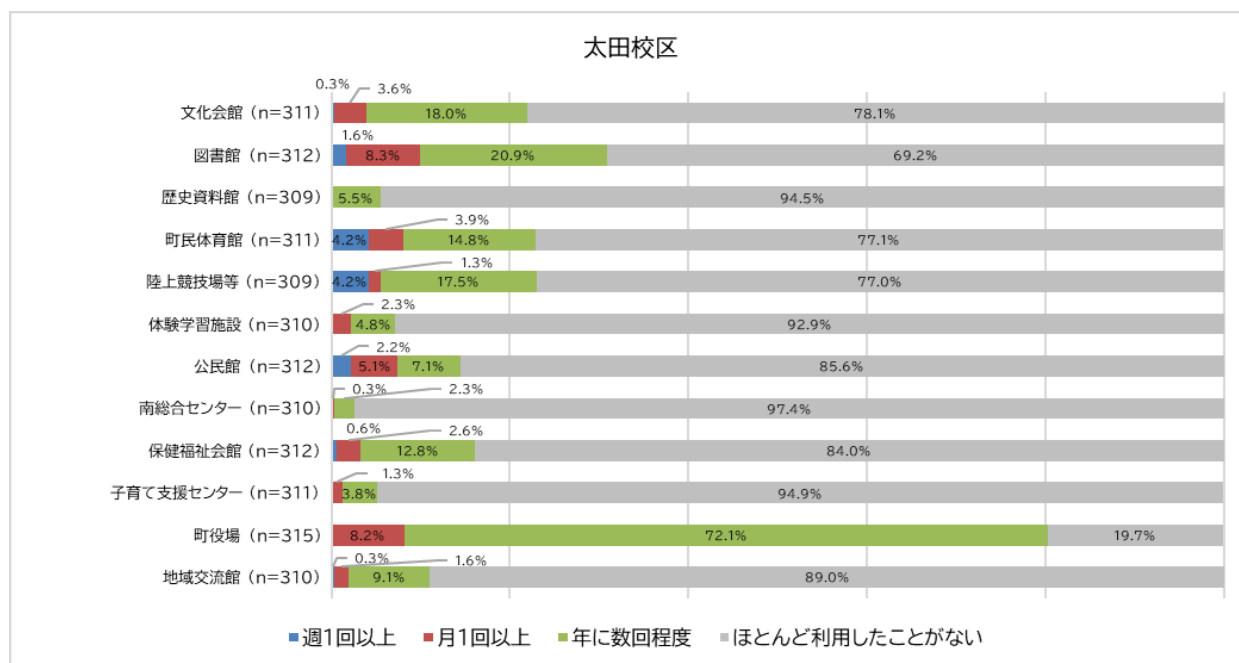
【校区別にみた利用傾向】

校区別にみると、町役場はいずれの校区においても利用割合が高く、居住校区を問わず広く利用されています。また、図書館についても、各校区で比較的に利用割合が高くなっています。

一方、施設によっては校区による利用状況の違いがみられます。龍田校区では、同校区に位置する陸上競技場等の利用割合が他の校区と比べて高くなっています。また、石海校区では、同校区に位置する保健福祉会館や南総合センターの利用割合が比較的高くなっています。

このように、一部の施設では、その施設が立地する校区において利用割合が高くなる傾向がみられることから、施設の立地や居住地からのアクセスのしやすさなどが利用状況に関係していることがうかがえます。





【10 年前と比較した利用傾向】

平成 28 年度調査との比較として、各施設を一度でも利用したことがある回答を「利用あり」として整理し、施設の利用経験の傾向を比較します。割合は、両年度とも各施設について「無回答」を除いた回答者数を母数として算出しています。

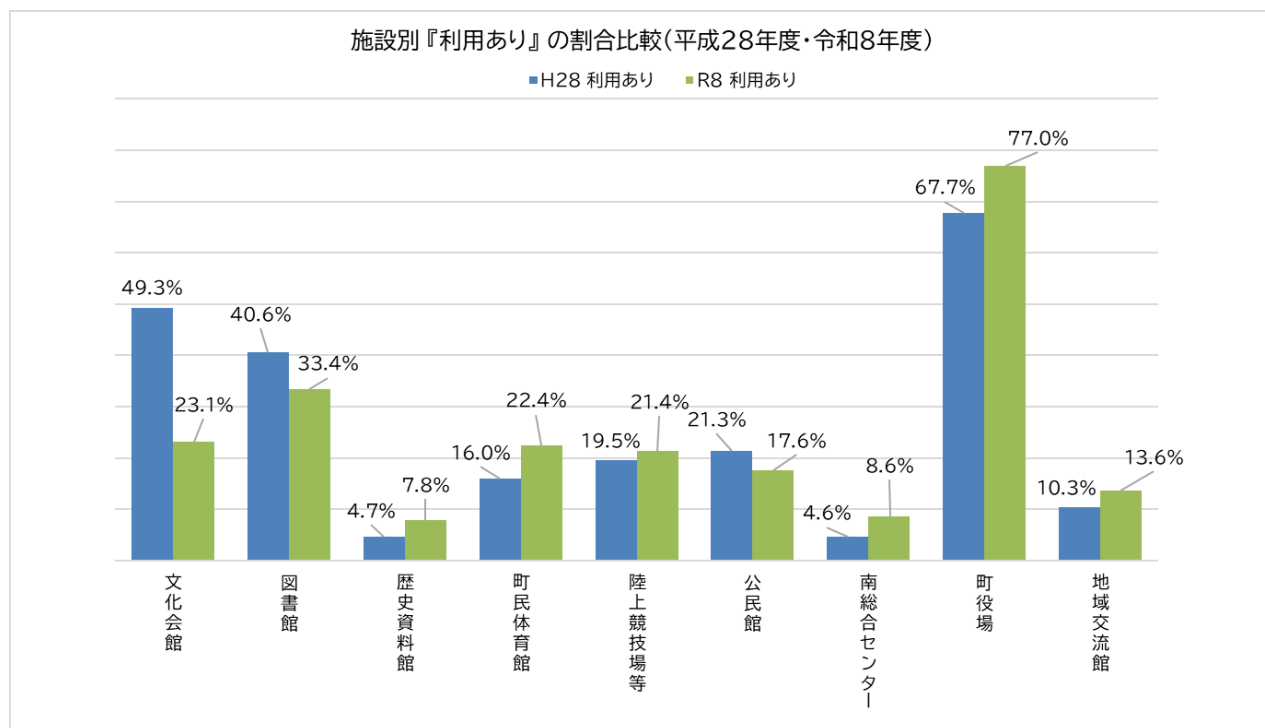
なお、調査時期や回答者の構成等が異なることから、数値の増減のみで利用状況の変化を判断するのではなく、10 年前と比較した施設利用の傾向を把握するための参考として示しています。

また、文化会館については、令和 8 年度の調査期間中、大規模改修に伴い休館していたため、今回の利用割合にその影響が含まれている可能性があります。

10 年前の調査結果と比較すると、町役場や町民体育館をはじめ、9 施設中 6 施設で利用経験割合が上昇しています。

特に、町役場は 67.7%から 77.0%へ 9.3 ポイント上昇しています。一方、文化会館は 49.3%から 23.1%へ 26.2 ポイント低下していますが、調査実施時には大規模改修に伴い休館していたことから、その影響も考慮して結果を捉える必要があります。

全体としては、比較可能な施設の多くで 10 年前と比べて利用経験割合が維持または上昇しており、施設を一度でも利用したことがある人の割合という観点では、利用経験の広がりがみられる施設が多くなっています。



(2) 公共施設の利用が少ない理由【問 1-2】

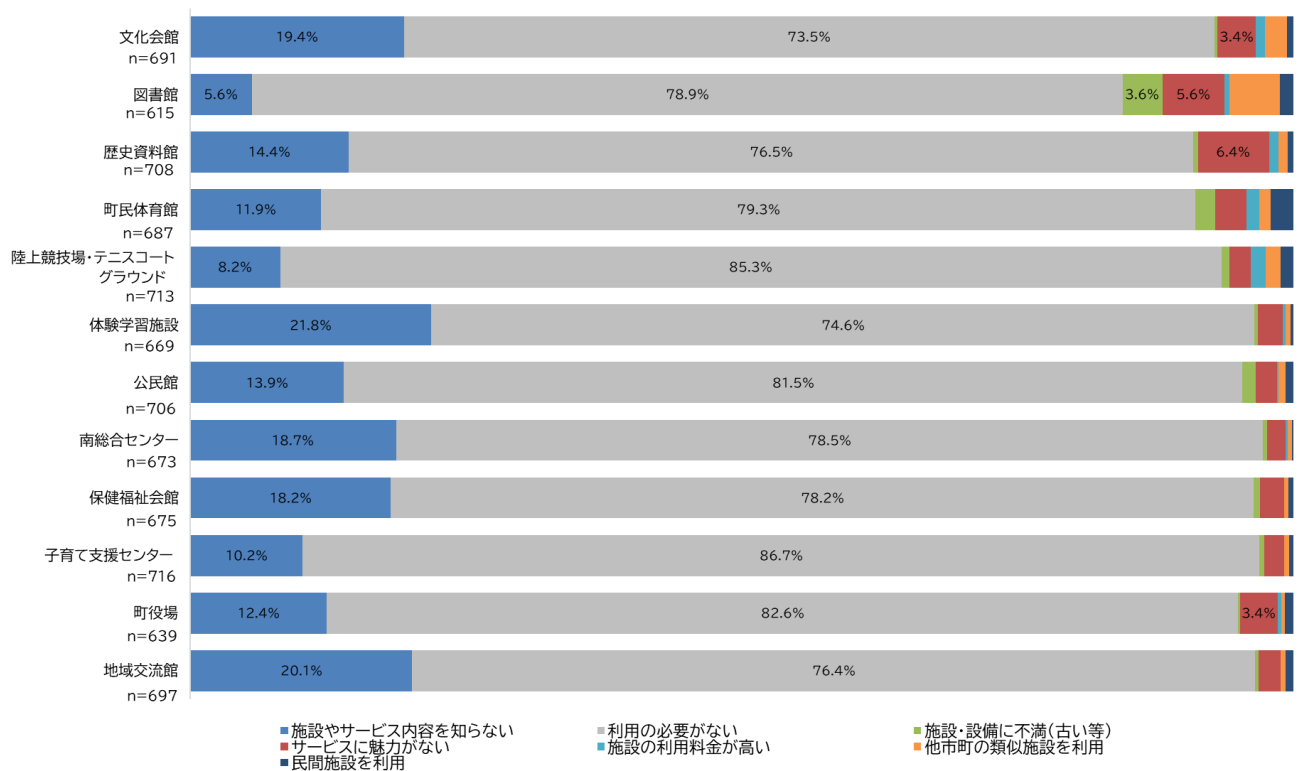
問 1-2 「3:年に数回程度利用」する、「4:利用していない」を選択した場合は、その理由について「②利用が少ない理由」からもっとも該当するものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

公共施設を利用しない、または利用頻度が低い理由については、すべての施設で「利用の必要がない」が最も多く、7割以上を占めています。また、「施設やサービス内容を知らない」とする回答も一定数みられ、施設によっては2割前後を占めています。

一方、「サービスに魅力がない」「施設・設備に不満がある」「利用料金が高い」「民間施設や他市町の類似施設を利用している」といった理由はいずれも比較的低い割合となっています。

このことから、公共施設の利用頻度には、利用の必要性に加え、施設やサービスに関する認知度も関係していることがうかがえます。

今後の施設のあり方を検討する上では、利用実態とあわせて、施設やサービスの周知状況についても考慮する必要があります。



施設名称	施設やサービス内容を知らない	利用の必要がない	施設・設備に不満(古い等)	サービスの魅力がない	施設の利用料金が高い	他市町の類似施設を利用	民間施設を利用
文化会館	19.4%	73.4%	0.3%	3.4%	0.9%	2.0%	0.6%
図書館	5.6%	78.9%	3.6%	5.6%	0.5%	4.5%	1.3%
歴史資料館	14.4%	76.6%	0.4%	6.4%	0.8%	0.8%	0.6%
町民体育館	11.9%	79.2%	1.8%	2.8%	1.2%	1.0%	2.1%
陸上競技場・テニスコートグラウンド	8.2%	85.3%	0.8%	1.9%	1.3%	1.3%	1.2%
体験学習施設	21.8%	74.6%	0.3%	2.3%	0.3%	0.4%	0.3%
公民館	13.9%	81.5%	1.2%	1.9%	0.2%	0.6%	0.7%
南総合センター	18.7%	78.5%	0.4%	1.7%	0.2%	0.4%	0.1%
保健福祉会館	18.2%	78.2%	0.6%	2.2%	0.0%	0.4%	0.4%
子育て支援センター	10.2%	86.7%	0.5%	1.8%	0.0%	0.4%	0.4%
町役場	12.4%	82.6%	0.2%	3.4%	0.3%	0.3%	0.8%
地域交流館	20.1%	76.4%	0.3%	2.0%	0.0%	0.5%	0.7%

3 公共施設の改善点

(1) 公共施設の改善点【問 2】

問 2 下記の施設のうち、「利用したことがある」ものについて、より良くしてほしい点があれば、該当するものの全てを選び、番号に○をつけてください。

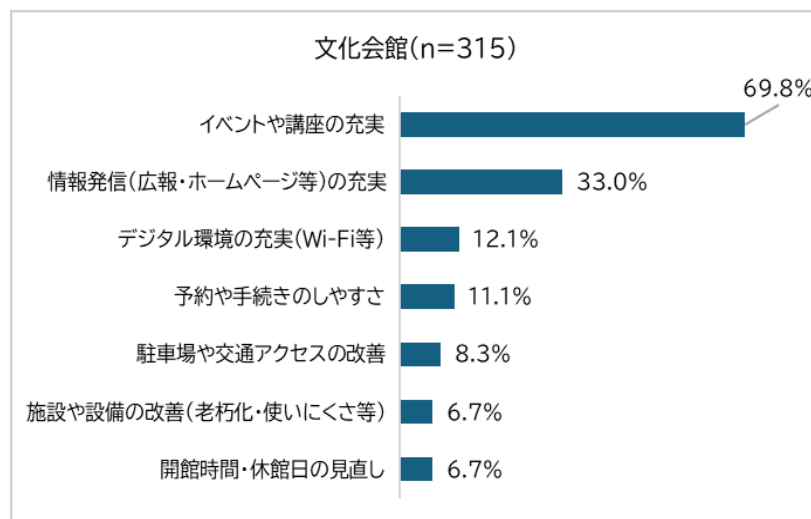
(※利用したことがない又は特に改善点のない施設は空欄としてください。)

施設別の改善要望を見ると、多くの施設で「情報発信(広報・ホームページ等)の充実」や「イベントや講座の充実」の割合が高くなっています。特に、文化会館では「イベントや講座の充実」が 69.8%と高く、歴史資料館、体験学習施設、公民館、南総合センター、保健福祉会館、子育て支援センター、地域交流館においても、これらの項目が上位を占めています。

一方、図書館では「施設や設備の改善」や「開館時間・休館日の見直し」、町役場では「開館時間・休館日の見直し」や「予約や手続きのしやすさ」なども比較的高くなっています。

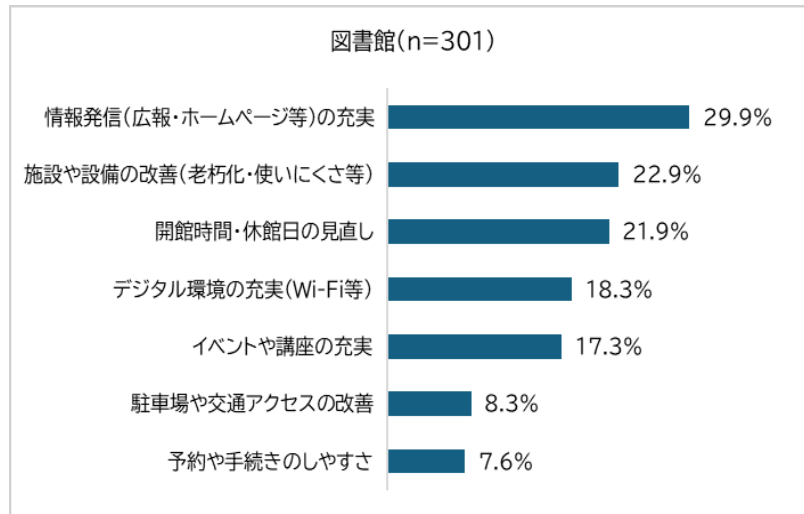
このことから、施設の改善に当たっては、施設・設備などのハード面だけでなく、情報発信やイベント・講座、利用手続きなどのソフト面も含め、それぞれの施設の特性や利用者ニーズに応じた改善を図り、既存施設をより利用しやすい環境を整えていくことが求められていると考えられます。

※「その他」の自由記述については、同趣旨の意見を整理・要約した上で、主な意見を掲載しています。



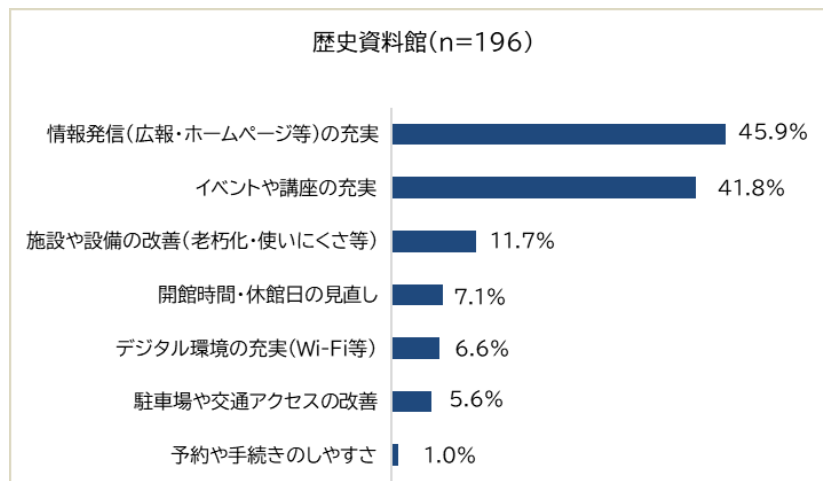
【文化会館:その他意見】

- 利用料金・営利用料金を見直してほしい
- 利用できる内容や利用方法を分かりやすく周知してほしい
- 夜間の駐車場が暗い
- 子どもの自習スペースがほしい



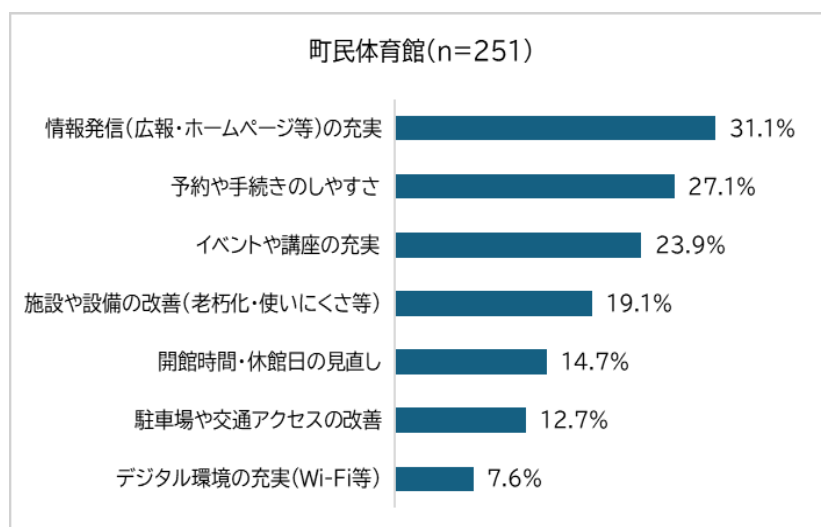
【図書館:その他意見】

- 新刊や蔵書の種類・魅力を充実してほしい
- 子ども向け図書を充実してほしい
- 自習・学習スペースを増やしてほしい
- 新刊情報などをもっと発信してほしい
- 開館時間を見直してほしい
- 駐車場を分かりやすくしてほしい



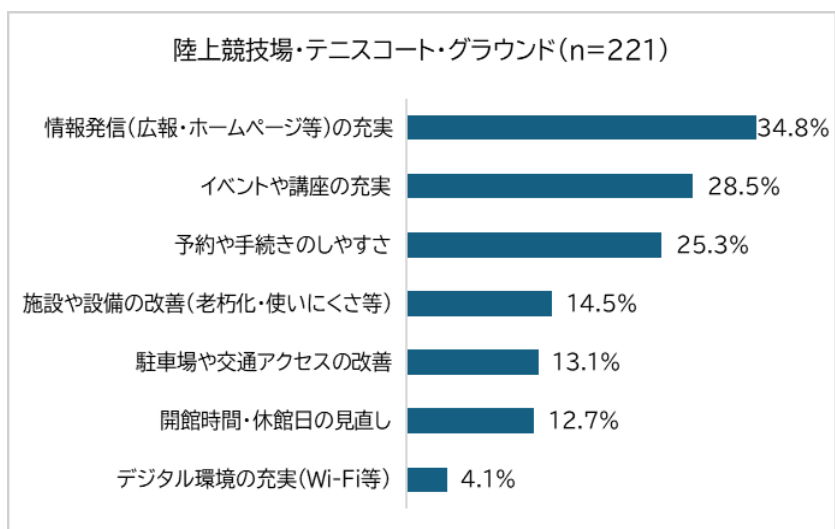
【歴史資料館:その他意見】

- 展示内容を更新・充実してほしい
- 利用料金を見直してほしい
- 太子町の歴史を分かりやすく伝える展示や催しを増やしてほしい
- 施設の目的や活動内容をもっと周知してほしい



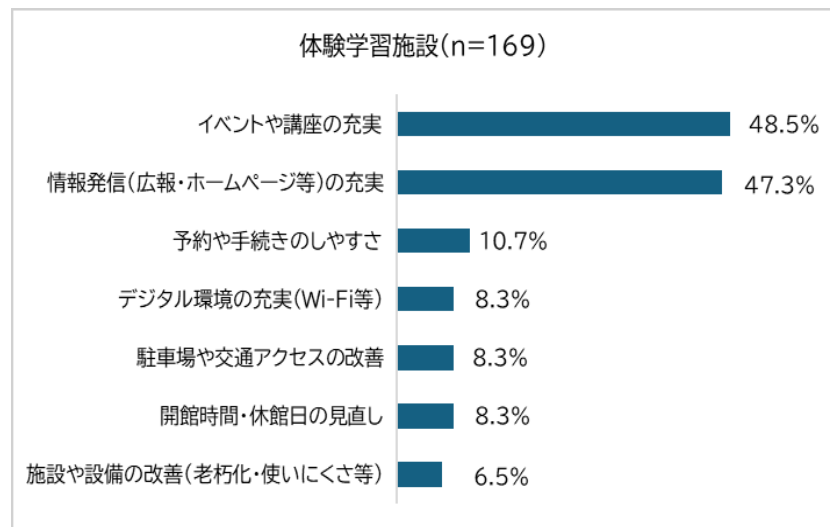
【町民体育館:その他意見】

- アリーナ等に空調を整備してほしい
- 利用料金を見直してほしい
- トレーニング機器・設備を充実、更新してほしい
- 予約方法や利用方法を分かりやすく、利用しやすくしてほしい
- 利用できる競技や時間を拡充してほしい



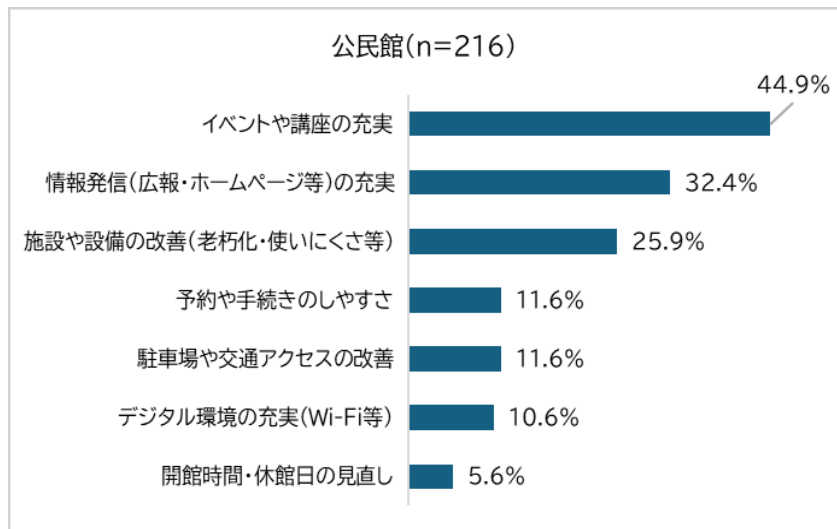
【陸上競技場・テニスコート・グラウンド:その他意見】

- 屋根・日よけを増やしてほしい
- 利用料金を見直してほしい
- 芝生等の維持管理を充実してほしい
- 予約枠を増やしてほしい
- スポーツやイベントなど幅広い活用をしてほしい



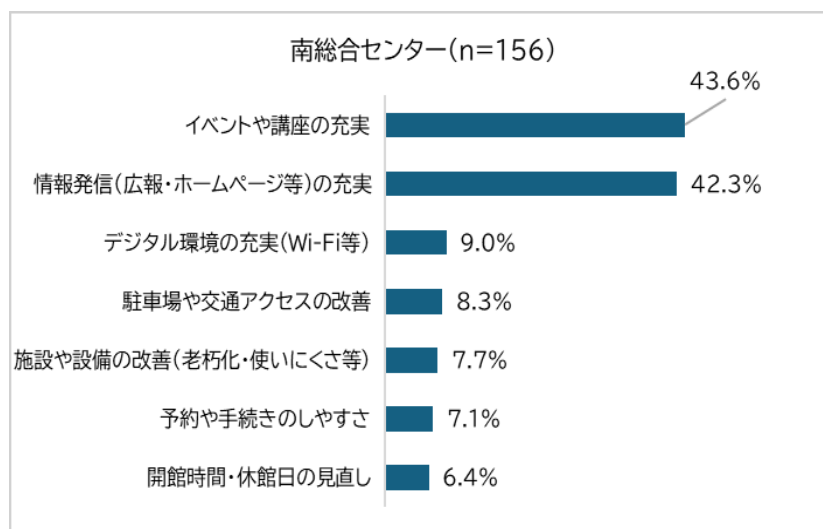
【体験学習施設:その他意見】

- 自習・学習に利用できるようにしてほしい
- 屋内で学び・遊べる場所を増やしてほしい
- 施設の活動内容や利用方法をもっと周知してほしい
- 受付など利用時の対応を改善してほしい



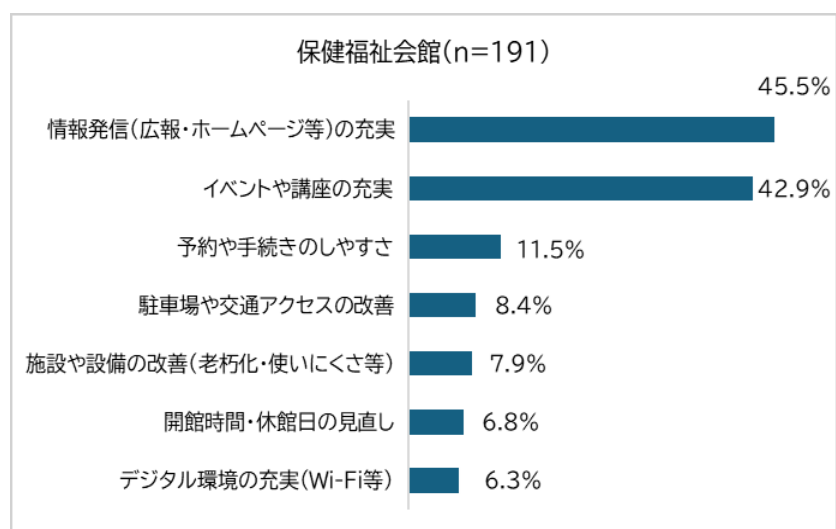
【公民館:その他意見】

- 自習・学習スペースとして活用してほしい
- コミュバス等交通手段を改善してほしい
- 講座や地域交流など活動を充実してほしい
- トイレ・階段などバリアフリー面を改善してほしい



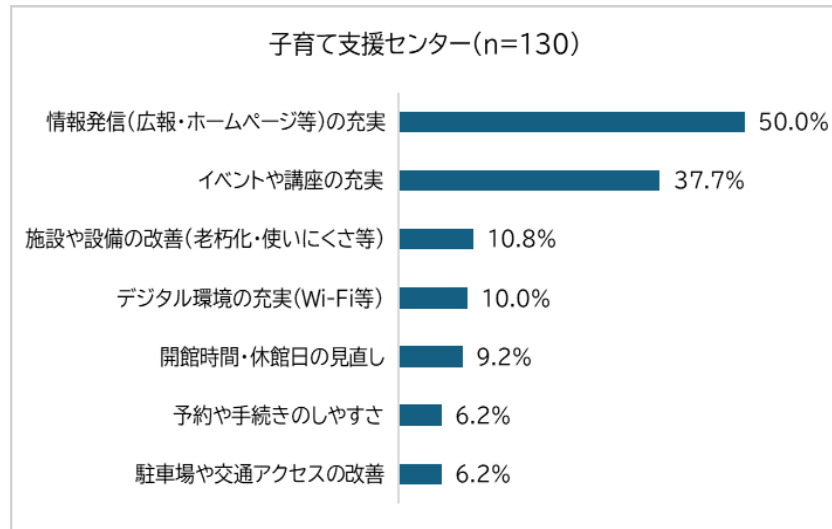
【南総合センター:その他意見】

- 所在地や施設の目的・活動内容をもっと周知してほしい
- 入口・進入路を分かりやすくしてほしい
- 子どもなど幅広い世代が利用しやすくしてほしい
- 施設の必要性や他施設との統合を検討してほしい



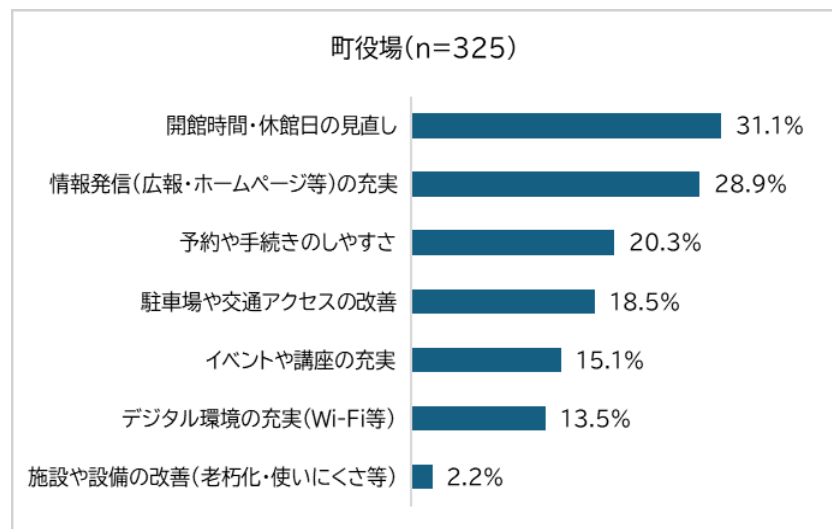
【保健福祉会館:その他意見】

- 利用方法や館内案内を分かりやすくしてほしい
- 若い世代にも施設を周知してほしい
- 高齢者が利用しやすい施設にしてほしい
- 既存設備を有効活用してほしい



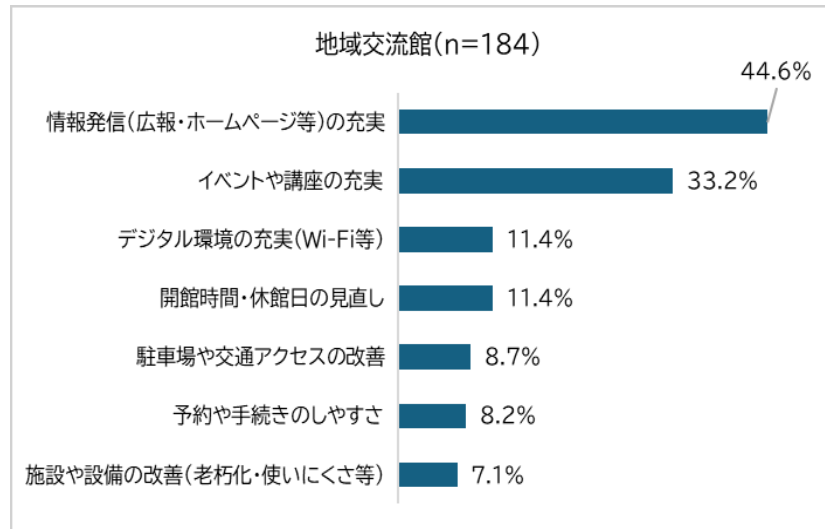
【子育て支援センター:その他意見】

- 車がなくても利用しやすい交通・立地面の改善を望む
- 開館時間を延長してほしい
- 町外利用者なども利用しやすくしてほしい
- 施設の利用対象や利用方法を分かりやすくしてほしい



【町役場:その他意見】

- 平日夕方や土曜日など開庁時間を拡大してほしい
- 入口・案内表示・受付方法を分かりやすくしてほしい
- 車を利用できない人の交通手段を確保してほしい
- 屋内遊具や勉強スペースの設置を希望する



【地域交流館:その他意見】

- 施設の場所・用途・利用方法をもっと周知してほしい
- 学生等が利用できるスペースを充実してほしい
- 予約方法を簡単にしてほしい
- 利用者のマナーや周辺への騒音等に配慮してほしい

4 公共施設の見直しに対する考え方

(1) 公共施設の見直しの際に大切にすべき視点【問 3】

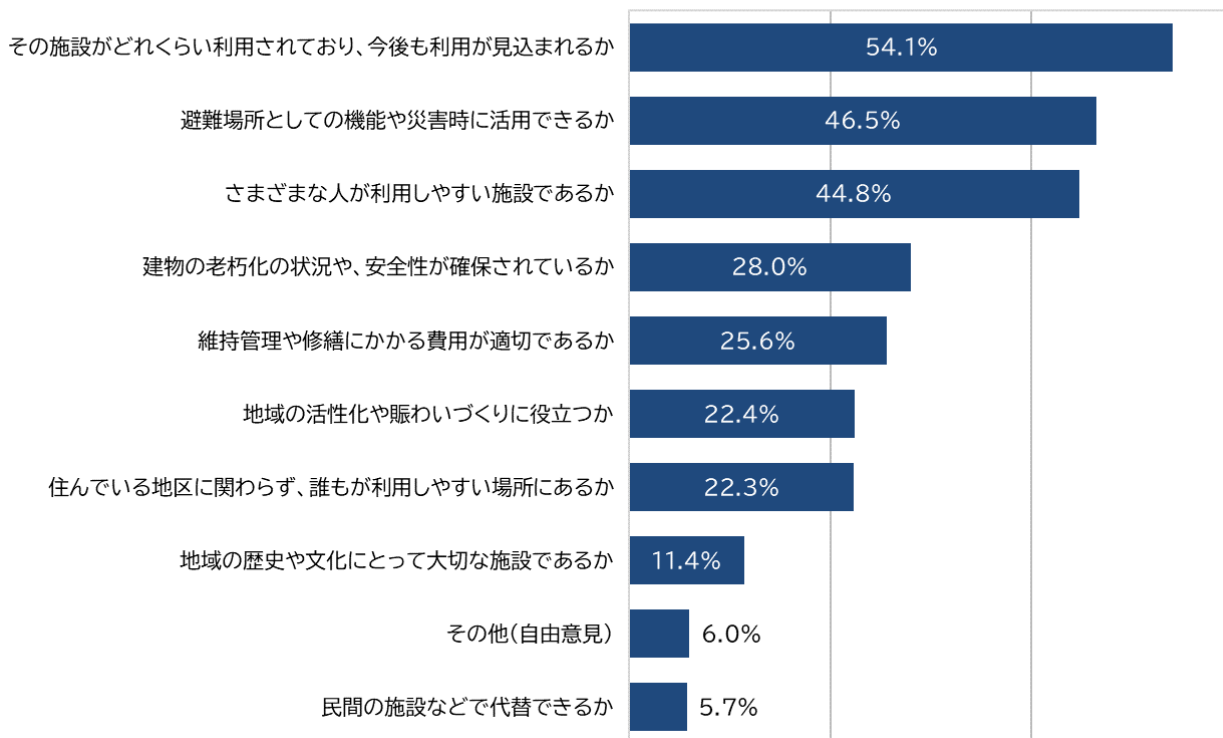
問 3 今後の公共施設の見直し(残す・まとめる・減らすなど)を考えるうえで、「特に大切だと思うこと」を次の中から 3 つ以内で選び、番号に○印をつけてください。

公共施設を見直す際に特に大切だと思うことについては、「その施設がどれくらい利用されており、今後も利用が見込まれるか」が 54.1%と最も高く、次いで「避難場所としての機能や災害時に活用できるか」が 46.5%、「さまざまな人が利用しやすい施設であるか」が 44.8%となっています。

このことから、公共施設の見直しにあたっては、現在の利用状況や将来的な利用需要に加え、災害時における防災機能や、幅広い人が利用しやすい環境であることも重要な判断要素として認識されていることがうかがえます。

特に、施設の集約化や廃止等を検討する場合には、利用状況のみで判断するのではなく、避難所としての役割や代替施設の確保など、防災面を含めた施設の地域における役割についても考慮する必要があると考えられます。

公共施設を見直す際に特に大切だと思うこと(n=753)



「その他」の主な意見

※自由記述については、同趣旨の意見を整理・要約した上、主な意見を掲載しています。

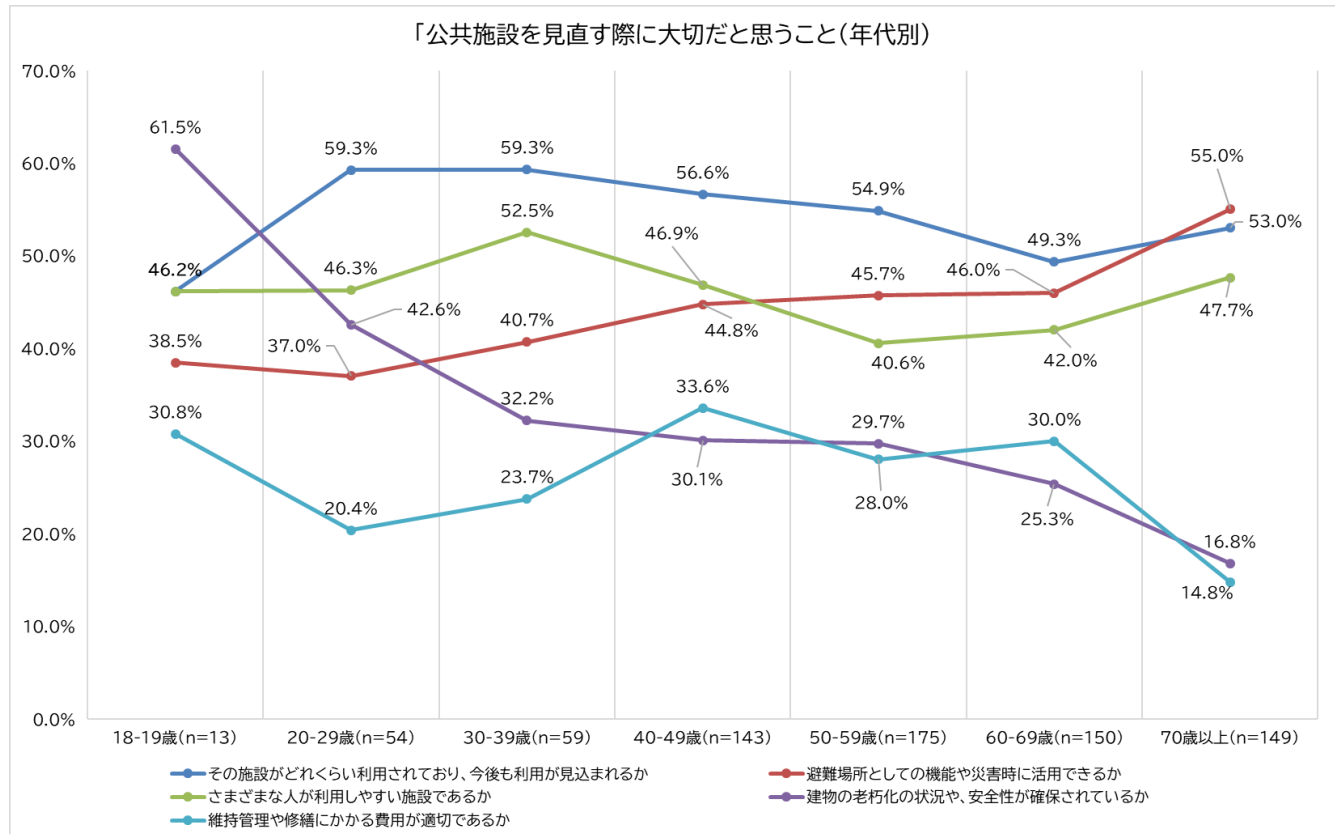
1	維持管理を踏まえ、本当に必要な施設なのかを考える必要がある。
2	若者の興味を惹くものかどうかを考えてほしい。
3	利用してほしい方(年齢層)に意見を聞くべきだと思う。
4	その施設特有の独自性があるかどうか大切だと思う。
5	若者が離れないような施設づくりをしてほしい。
6	利用頻度に関係なく、太子町として残していく文化や歴史については、利用しやすい形に残していく必要があると思う。
7	車の免許がない人でも公共施設を利用できるよう、交通手段について考えてほしい。
8	中心部だけでなく、人口の少ない地域へのサービスについても十分に考えてほしい。
9	自治会所有の公民館へ移行できるものは移行するなど、自治会公民館との連携も必要ではないか。民間に運営を委託できる施設もあると思う。
10	町民の誰もが利用できる施設であることが大切だと思う。
11	世代を超えて「行こう」と思える施設が理想だと思う。
12	人口減少・高齢化により利用される施設も変わってくるため、デジタル化を進め、資料等を誰でも見られるようにするとよい。
13	若い人たちのためにも、公共施設は整えた方がよいと思う。
14	手続きなしで利用できる公園のような場所を増やし、子どもが遊んだり学習したりできる環境を整えてほしい。
15	公共施設だけでなく、人口減少対策、子育て支援、防災、道路、上下水道などとの優先順位を踏まえ、町全体の将来像と財政配分を考えた上で公共施設のあり方を検討すべきだと思う。
16	地区公民館は地域の大切な中核となる場所であり、もっと積極的な活動を望む。各施設とも、その目的に照らした活発な運営をしてほしい。
17	一部の意見や利用者に偏った見直しにならないようにしてほしい。
18	利用者が維持管理できる道具や設備を充実させるなど、利用者自身がメンテナンスしやすい仕組みにするのもよいと思う。
19	まずは利用者の意見を聞くべきだと思う。高齢者の生涯学習についても考えてほしい。
20	公共施設の目的や利用方法が分かりにくいものについては、広報などでもっと分かりやすく知らせてほしい。

【年代別】 公共施設の見直しの際に大切にすべき視点

年代別にみると、「その施設がどれくらい利用されており、今後も利用が見込まれるか」は、幅広い年代で高い割合となっています。また、「避難場所としての機能や災害時に活用できるか」についても、多くの年代で高い割合となっています。

一方、「建物の老朽化の状況や安全性が確保されているか」については、若年層ほど回答割合が高い傾向にあります。

※18～19 歳は回答者数が少ないため、結果の解釈には留意が必要です。



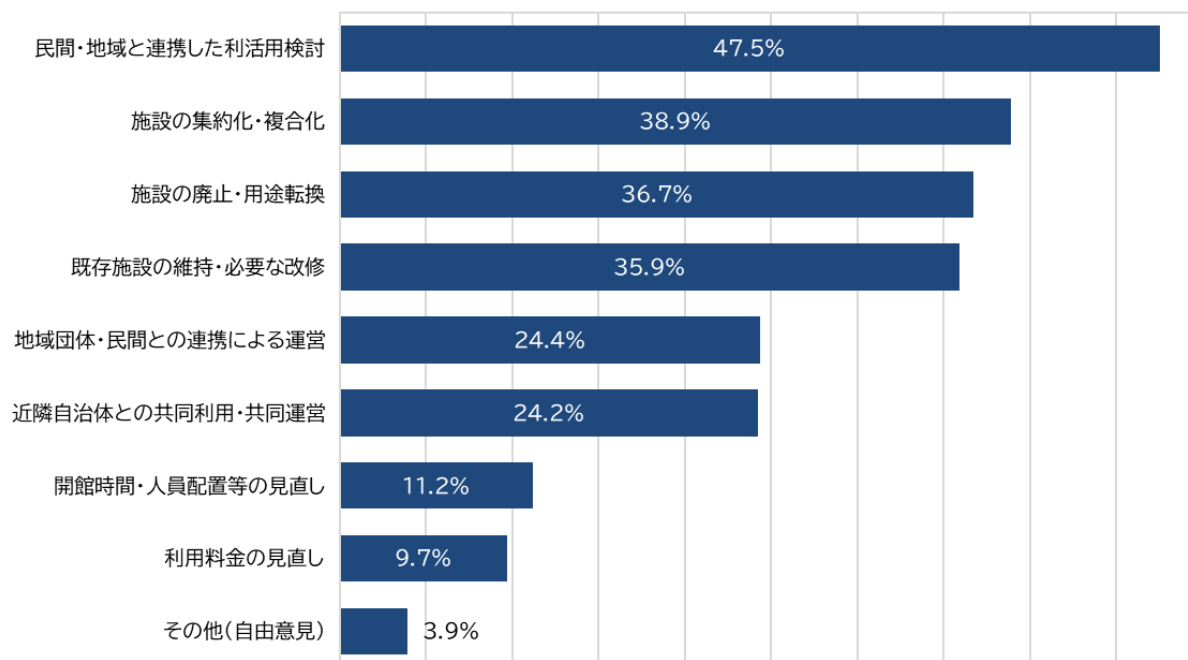
(2) 公共施設の見直しの進め方【問 4】

問 4 【問 3】でお伺いした「特に大切だと思うこと」を踏まえ、公共施設の見直しを今後どのように進めていくべきかについて、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○印をつけてください。

公共施設の見直しを今後どのように進めていくべきかについては、「民間・地域と連携した利活用検討」が47.5%と最も高く、次いで「施設の集約化・複合化」が38.9%、「施設の廃止・用途転換」が36.7%、「既存施設の維持・必要な改修」が35.9%となっています。

このことから、利用が少ない施設については、直ちに廃止するのではなく、民間事業者や地域と連携しながら新たな利活用の可能性を検討することへの関心が高いことがうかがえます。一方で、施設の集約化・複合化や廃止・用途転換、既存施設の維持・改修についてもそれぞれ3割を超えており、特定の手法に限定するのではなく、施設の利用状況や役割に応じて、複数の手法を組み合わせながら見直しを進めることが求められていると考えられます。

今後の公共施設の見直しの進め方(n=743)



アンケート選択肢	グラフ上の表記
現在の施設を可能な範囲で維持し、必要な改修等を行いながら使い続ける	既存施設の維持・必要な改修
近い機能をまとめるなど、施設の集約や複合化を進める	施設の集約化・複合化
近隣自治体と公共施設の利用や管理運営を共同で進め、財政負担を減らす	近隣自治体との共同利用・共同運営
地域団体や民間と協力し、運営方法や役割を見直す	地域団体・民間との連携による運営
老朽化や利用の状況に応じて、廃止や別の用途への転用を進める	施設の廃止・用途転換
開館時間の短縮や人員配置の見直しなど、運営コストを削減する	開館時間・人員配置等の見直し
公共施設の利用料金を見直し、適正な負担を求める(値上げを含む)	利用料金の見直し
利用が少ない施設について、民間事業者や地域から活用アイデアを募集し、新たな利活用を検討する	民間・地域と連携した利活用検討

【大切にすべき視点別】 公共施設の見直しの進め方（【問 3】×【問 4】分析）

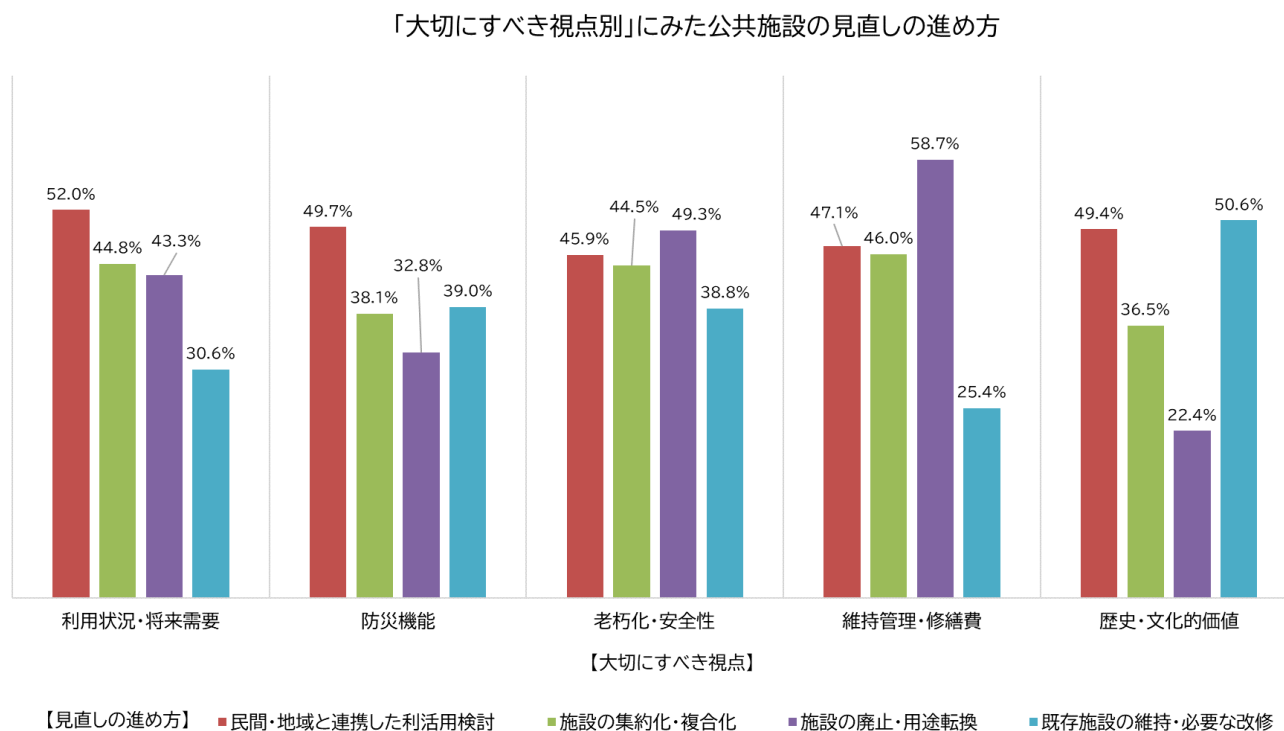
「問 3」で重視する視点別に「問 4」の見直し方をみると、「利用状況・将来需要」や「防災機能」を重視する人では、「民間・地域と連携した利活用検討」が最も高くなっています。

一方、「維持管理・修繕費」を重視する人では、「施設の廃止・用途転換」が 58.7%と最も高く、「施設の集約化・複合化」も 46.0%となっています。また、「歴史・文化的価値」を重視する人では、「既存施設の維持・必要な改修」が 50.6%と最も高く、「施設の廃止・用途転換」は 22.4%にとどまっています。

このことから、コスト面を重視する層では施設再編を、歴史・文化的価値を重視する層では既存施設の維持・改修を選択する傾向がみられ、施設に求める価値と見直し手法には一定の関連がみられます。

また、「民間・地域と連携した利活用検討」が複数の層で高い割合となっていることから、施設の維持・廃止だけでなく、民間や地域との連携による利活用も含め、施設の役割や特性に応じた見直し手法を検討していくことが重要であると考えられます。

問 3「大切にすべき視点」の回答割合が高い上位 5 項目を対象に、各項目を選択した回答者が、問 4「公共施設の見直しの進め方」でどのような方法を選択したかを集計しています。割合は、問 3 の各項目を選択した回答者数を母数として算出しています。



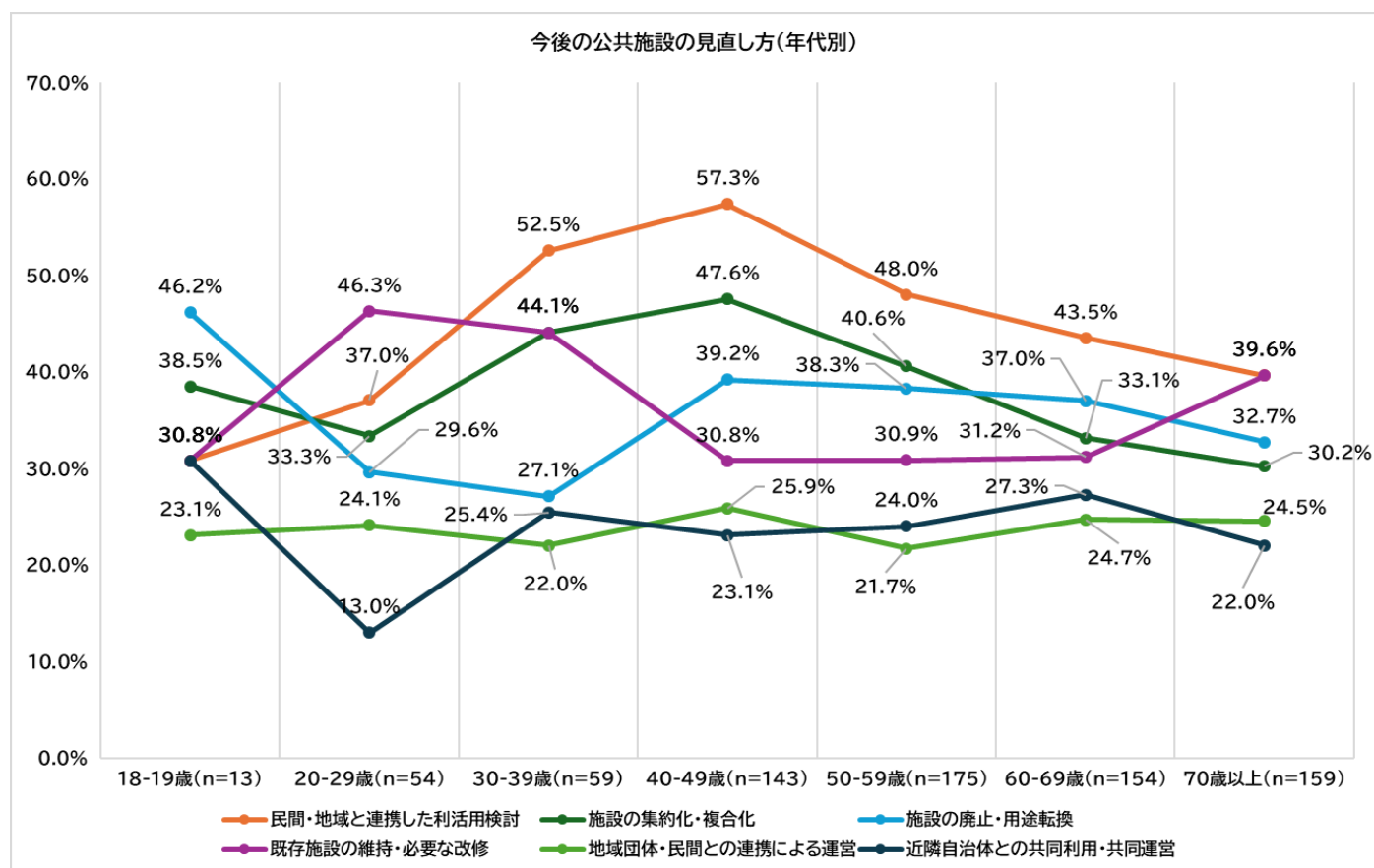
【年代別】 公共施設の見直しの進め方

年代別にみると、「民間・地域と連携した利活用検討」は 30～39 歳で 52.5%、40～49 歳で 57.3%となっており、特に 40～49 歳で高くなっています。また、「施設の集約化・複合化」についても、30～39 歳及び 40～49 歳でともに 44%を超えており、30～40 歳代では、民間や地域との連携や施設の集約化・複合化による見直しへの意向が比較的高くなっています。

一方、「既存施設の維持・必要な改修」は、20～29 歳で 46.3%、30～39 歳で 44.1%となっており、若い年代でも比較的高い割合となっています。また、「施設の廃止・用途転換」は 40～49 歳で 39.2%、50～59 歳で 38.3%、60～69 歳で 37.0%と、40～60 歳代でいずれも 4 割弱を占めています。

このことから、公共施設の見直しに対する意向は、「若い世代ほど再編を重視し、高齢の世代ほど維持を重視する」といった単純な傾向ではなく、年代ごとに異なる考え方がみられます。特に 30～40 歳代では、既存施設の維持・改修に加えて、民間・地域との連携や集約化・複合化など、複数の手法を組み合わせた見直しへの意向が比較的高いことがうかがえます。

※18～19 歳は回答者数が 13 人と少ないため、結果の解釈には留意が必要です。



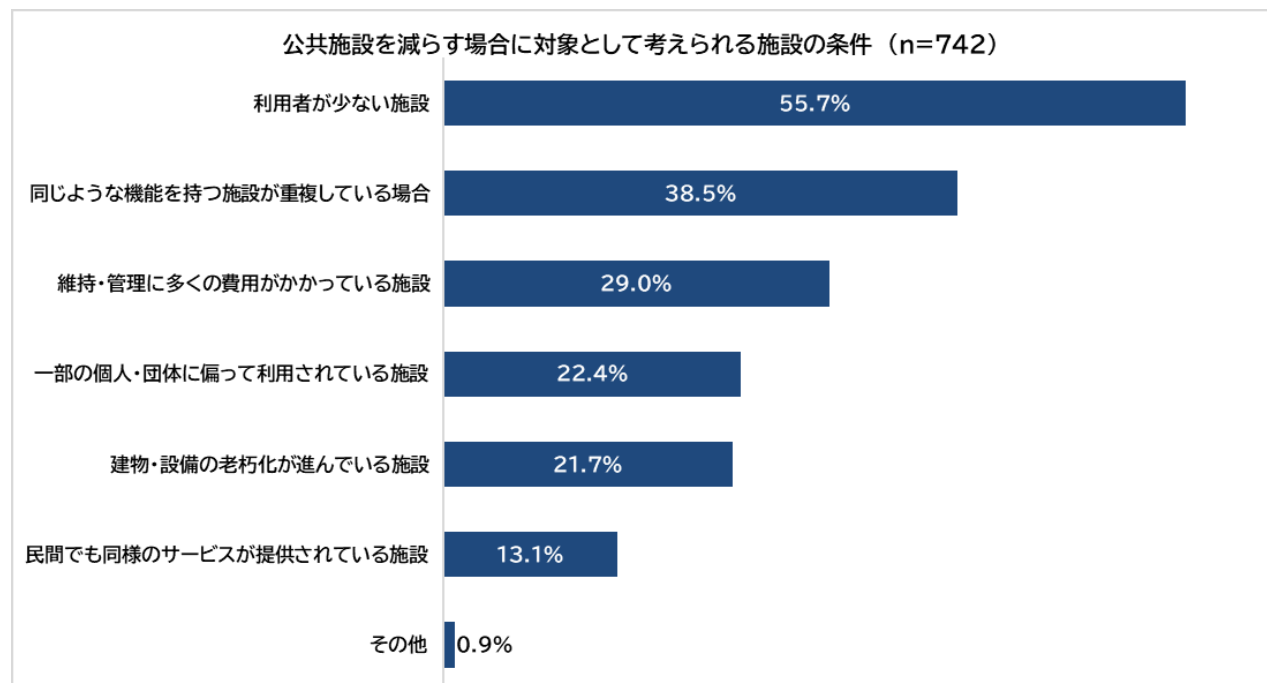
(3) 将来的に施設を減らす場合の考え方【問 5】

問 5 今後、公共施設の見直しを進める中で、将来的に施設を減らしていくとしたら、どのような条件の施設であれば対象として考えられると思いますか。あなたの考えに近いものを 2 つ以内で選び、番号に○印をつけてください。

公共施設を減らす場合に対象として考えられる施設については、「利用者が少ない施設」が 55.7%と最も高く、次いで「同じような機能を持つ施設が重複している場合」が 38.5%、「維持・管理に多くの費用がかかっている施設」が 29.0%となっています。

問 3 では施設の利用状況や今後の利用見込みが重視され、問 4 では民間や地域と連携した利活用を検討する意向が最も高くなっていることから、既存施設についてはまず有効活用の可能性を検討し、その上で利用が少なく、機能が重複している施設や維持管理に多くの費用を要する施設については、集約化や廃止・用途転換などを検討するという考え方がうかがえます。

このことから、施設の見直しにあたっては、単に施設数を減らすことを目的とするのではなく、利用実態や将来需要、施設の役割、維持管理コスト等を総合的に評価し、利活用の可能性を検討した上で、施設ごとの方向性を判断していくことが重要であると考えられます。



【その他自由意見】

1	利用が見込まれる施設の周辺への複合化を進め、歴史資料館など必要な施設は存続させるべき。また、民間委託ではなく町が主体となって施設を管理するべき。
2	利用者数や採算性だけで廃止を判断するのではなく、将来のまちづくりの方向性を踏まえ、太子町に適した施設のあり方を検討するべき。また、検討に当たっては、各施設の収支や利用状況などの情報が必要。
3	各施設の利用状況や費用について、町民に分かりやすく説明するべき。
4	施設を減らす以外の方法も検討するべき。
5	施設を減らす必要はない。(2 件)

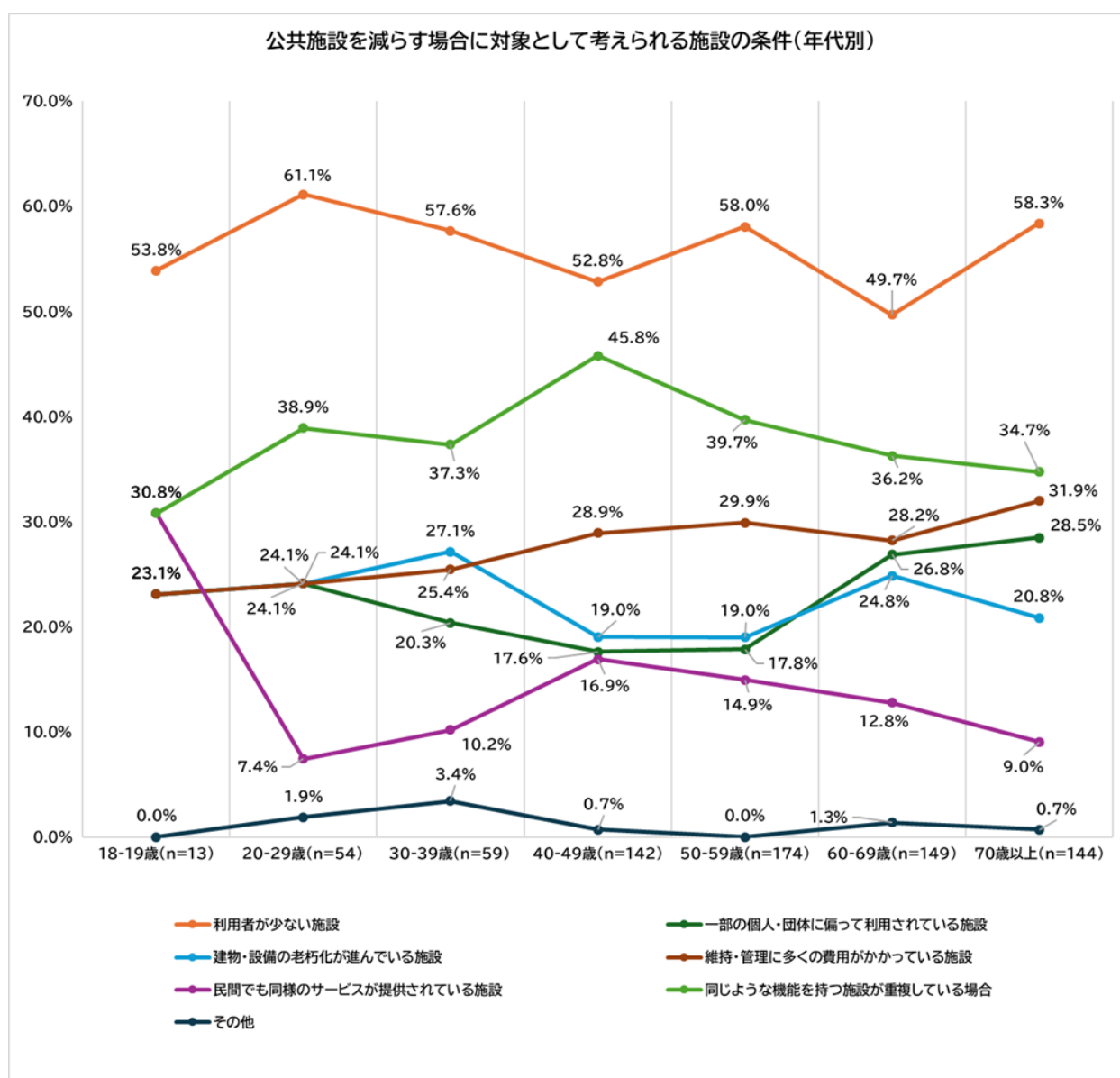
【年代別】将来的に施設を減らす場合の考え方

年代別にみると、「利用者が少ない施設」はすべての年代で高い割合となっており、特に 20～29 歳では 61.1%となっています。このことから、施設を減らす場合の判断基準として、施設の利用状況は年代を問わず共通して重視されていることがうかがえます。

その他の項目をみると、「同じような機能を持つ施設が重複している場合」は 40～49 歳で 45.8%と高くなっています。また、「維持・管理に多くの費用がかかっている施設」は、年代が上がるにつれておおむね割合が高くなる傾向がみられ、70 歳以上では 31.9%となっています。

このことから、施設を減らす場合には、利用状況が年代に共通する主要な判断基準となっている一方で、40～49 歳では施設機能の重複、高い年代では維持管理にかかる費用も比較的重視されるなど、利用状況に加えて考慮する要素には年代ごとの特徴がみられます。

※18～19 歳は回答者数が 13 人と少ないため、結果の解釈には留意が必要です。

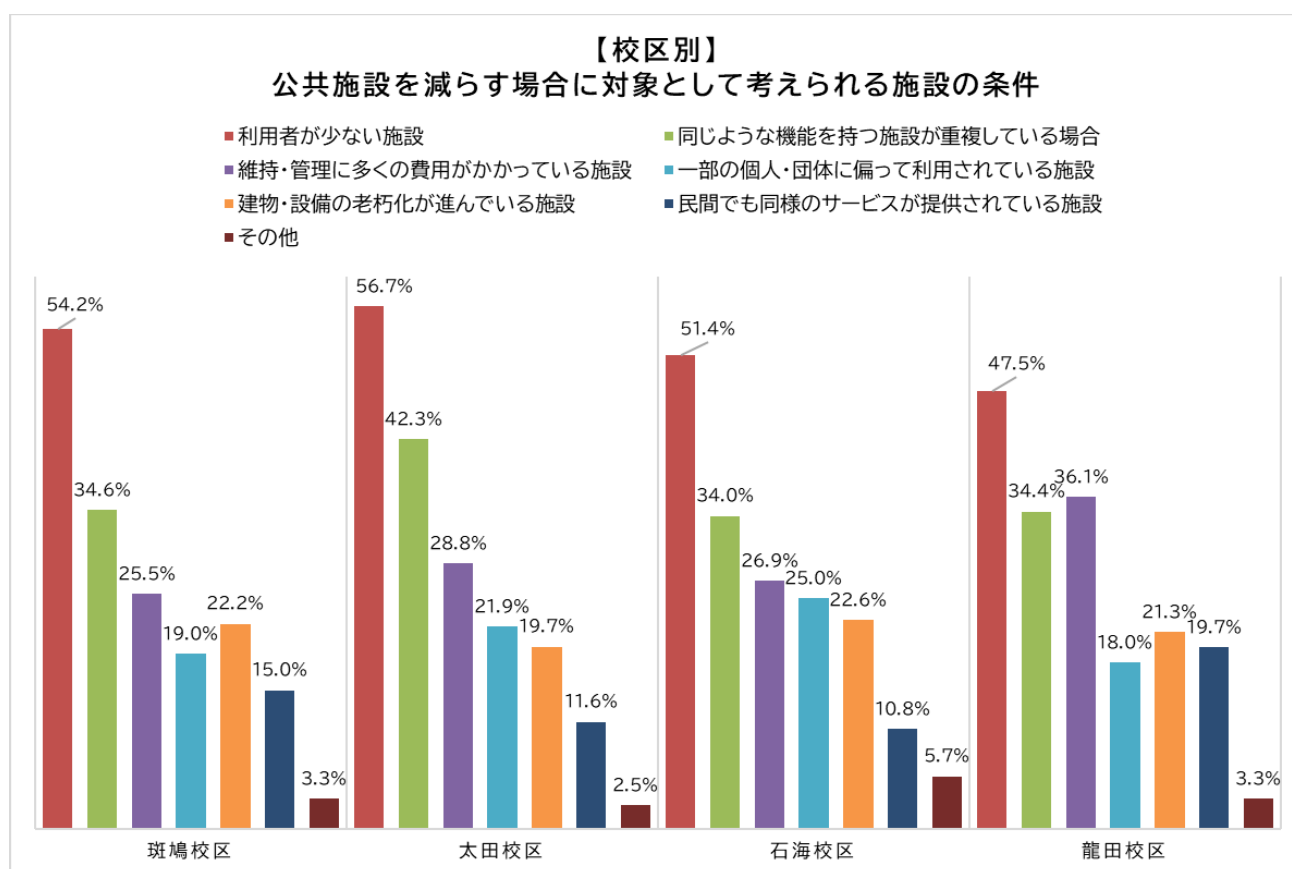


【校区別】 将来的に施設を減らす場合の考え方

校区別にみると、「利用者が少ない施設」はすべての校区で最も高く、47.5%～56.7%となっています。特に太田校区では56.7%、斑鳩校区では54.2%、石海校区では51.4%と5割を超えており、校区を問わず、施設の利用状況が施設を減らす場合の主要な判断材料として捉えられていることがうかがえます。

その他の項目では、「同じような機能を持つ施設が重複している場合」は太田校区で42.3%と他の校区に比べて高くなっています。また、「維持・管理に多くの費用がかかっている施設」は龍田校区で36.1%と最も高くなっています。一方、「建物・設備の老朽化が進んでいる施設」は各校区とも2割前後となっており、校区による大きな差はみられません。

このことから、施設を減らす場合には、校区を問わず利用状況が共通して重視されている一方、太田校区では施設機能の重複、龍田校区では維持管理にかかる費用が比較的重視されるなど、利用状況に加えて考慮する要素には一部違いがみられます。



IV アンケート調査票(参考資料)

- ・アンケート調査 案内文
- ・アンケート調査 調査票

太子町公共施設に関するアンケート調査のお願い

町民のみなさまへ

平素は太子町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本町では、公共施設の老朽化などの課題に対応するため、「太子町公共施設等総合管理計画(平成29年3月)」を策定し、公共施設の適正な管理に取り組んでおります。

この度、第1期計画が終了することから、次期計画の策定に向け、現行計画の改訂を進めています。

人口減少の進行に伴い、将来の財政負担の増大が懸念される中、施設の更新・維持管理に必要な財源の確保が大きな課題となっています。こうした状況の中でも、町民のみなさまが安心して快適に公共施設を利用できるよう、利便性の向上と持続可能な運営の両立を図ることが求められています。

そこで本アンケートでは、公共施設の「利用状況」「改善してほしい点」「将来のあり方」について、幅広くご意見を伺い、計画改訂の基礎資料とさせていただきます。

公共施設は、みなさまの生活を支える大切な資源です。本計画の改訂にあたり、よりよい施設のあり方を共に考えるため、みなさまのご意見をお聞かせください。

お忙しいところ恐れ入りますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年6月 太 子 町

※総合管理計画などの詳細は、下記の QR コードをスマートフォンで読み取っていただくか、太子町のホームページをご覧ください。



公共施設等総合管理計画など

太子町ホームページ内の、
まちの情報→施策・計画→公共施設等総合管理計画・個別施設計画から閲覧いただけます。



太子町 公共施設アンケート調査票

I 回答方法

- (1) 問 1～10 までの設問をよく読み、回答を記入してください。
※お名前などを記入していただく必要はありません。
- (2) 本アンケートは、**①郵送による回答** と **②インターネットによる回答(QR コード)** のいずれかの方法で 1 回のみ、ご回答いただけます。
- ① 郵送で回答する場合
同封のアンケート用紙にご記入のうえ、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、郵便ポストへ投函してください。
- ② インターネットで回答する場合
下記に掲載の QR コードをスマートフォン等で読み取り、表示される画面の案内に従って回答してください。

回答期限(①及び②共通)・・・令和 8 年 7 月 31 日(金)



👉 アンケートのご回答はこちら



II 調査対象

無作為に抽出した 18 歳以上の住民 2,000 人を対象に行っています。
※回答いただいた内容は、他の目的には一切使用いたしません。

III ご記入にあたっての注意点

- ・ アンケートは、あて名のご本人様がお答えください。
ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族や介助者様の代筆での回答をお願いします。
- ・ 回答は、該当する番号に○印をつけてください。
また、記入すべきところは、具体的内容をご記入下さい。
- ・ この調査は無記名方式で行うため、個人が特定されることはありません。

1. 公共施設の利用状況についておたずねします

問 1

1-① あなたは、過去 1 年間に町内の公共施設をどのくらい利用しましたか。該当するものを 1 つ選び、○印をつけてください。(ただし、家族の送迎といった利用は除きます。)

なお、「文化会館・保健福祉会館・陸上競技場」については、令和 7 年度は改修工事のため、令和 6 年度の利用状況についてお答えください。

1-② 「3:年に数回程度利用」する、「4:利用していない」を選択した場合は、その理由について「②利用が少ない理由」からもっとも該当するものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

公共施設ごとに、それぞれお答えください。 ※文化会館・保健福祉会館・陸上競技場については、閉館前の令和 6 年の利用実績についてお答えください。	① 利用頻度 (過去 1 年間) ※ 1 つだけ選択				② 利用が少ない理由 「3・4」を選択した場合 ※ 1 つだけ選択						
	1 週に 1 回以上	2 月に 1 回以上	3 年に数回程度	4 利用していない	ア 施設やサービス内容を知らない	イ 利用の必要がない	ウ 施設・設備に不満(古い等)	エ サービスに魅力がない	オ 施設の利用料金が安い	カ 他市町の類似施設を利用	キ 民間施設を利用
丸尾建築あすかホール(文化会館)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
図書館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
歴史資料館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
創継町民体育館(町民体育館)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
陸上競技場・テニスコート・グラウンド (丸尾建築総合公園内)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
体験学習施設 (丸尾建築総合公園内)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
公民館(斑鳩・石海・太田・龍田)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
南総合センター	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
保健福祉会館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
子育て支援センター(ひまはび)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
町役場	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
地域交流館(はらっぱ)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ

2. 公共施設の改善点についておたずねします

問 2

下記の施設のうち、「利用したことがある」ものについて、より良くしてほしい点があれば、該当するもの全てを選び、番号に○をつけてください。

(※利用したことがない又は特に改善点のない施設は空欄としてください。)

下記の公共施設ごとに、それぞれお答えください	1 開館時間・休館日の見直し	2 予約や手続きのしやすさ	3 施設や設備の改善(老朽化使いにくさ等)	4 イベントや講座の内容の充実	5 デジタル環境の充実(Wi-Fi等)	6 駐車場や公共交通などアクセスの改善	7 施設の情報発信(広報・ホームページ等)の充実	8 その他※ご意見を記入ください
丸尾建築あすかホール(文化会館)	1	2	3	4	5	6	7	
図書館	1	2	3	4	5	6	7	
歴史資料館	1	2	3	4	5	6	7	
創継町民体育館(町民体育館)	1	2	3	4	5	6	7	
陸上競技場・テニスコート・グラウンド (丸尾建築総合公園内)	1	2	3	4	5	6	7	
体験学習施設 (丸尾建築総合公園内)	1	2	3	4	5	6	7	
公民館(斑鳩・石海・太田・龍田)	1	2	3	4	5	6	7	
南総合センター	1	2	3	4	5	6	7	
保健福祉会館	1	2	3	4	5	6	7	
子育て支援センター(ひまは び)	1	2	3	4	5	6	7	
町役場	1	2	3	4	5	6	7	
地域交流館(はらっぱ)	1	2	3	4	5	6	7	

3. 将来の公共施設のあり方について、お考えをお聞かせください

公共施設を今後も無理なく維持し、安心して利用できる状態を保つためには、建物の老朽化や利用状況、地域での役割、財政的な負担など、さまざまな観点から見直しを行うことが必要になります。この際、町としてどのような視点を大切にしていけるべきか、みなさまのお考えをお聞かせください。

問 3

今後の公共施設の見直し(残す・まとめる・減らすなど)を考えるうえで、「特に大切だと思うこと」を次の中から **3 つ以内で選び**、番号に○印をつけてください。

1	その施設がどれくらい利用されており、今後も利用が見込まれるか
2	住んでいる地区に関わらず、誰もが利用しやすい場所にあるか
3	建物の老朽化の状況や、安全性が確保されているか
4	維持管理や修繕にかかる費用が適切であるか
5	避難場所としての機能や災害時に活用できるか
6	さまざまな人が利用しやすい施設であるか
7	地域の歴史や文化にとって大切な施設であるか
8	民間の施設などで代替できるか
9	地域の活性化や賑わいづくりに役立つか
10	その他 ※上記以外にご意見がございましたらご記入ください

問 4

【問3】でお伺いした「特に大切だと思うこと」を踏まえ、公共施設の見直しを今後どのように進めていくべきかについて、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○印をつけてください。

1	現在の施設を可能な範囲で維持し、必要な改修等を行いながら使い続ける
2	近い機能をまとめるなど、施設の集約や複合化を進める
3	近隣自治体と公共施設の利用や管理運営を共同で進め、財政負担を減らす
4	地域団体や民間と協力し、運営方法や役割を見直す
5	老朽化や利用の状況に応じて、廃止や別の用途への転用を進める
6	開館時間の短縮や人員配置の見直しなど、運営コストを削減する
7	公共施設の利用料金を見直し、適正な負担を求める(値上げを含む)
8	利用が少ない施設について、民間事業者や地域から活用アイデアを募集し、新たな利活用を検討する
9	その他 ※上記以外で、ご意見があればご記入ください。

問 5

今後、公共施設の見直しを進める中で、将来的に施設を減らしていくとしたら、どのような条件の施設であれば対象として考えられると思いますか。

あなたの考えに近いものを 2つ以内で選び、番号に○印をつけてください。

1	利用者が少ない施設
2	一部の個人・団体に偏って利用されている施設
3	民間でも同様のサービスが提供されている施設
4	建物・設備の老朽化が進んでいる施設
5	維持・管理に多くの費用がかかっている施設
6	同じような機能を持つ施設が重複している場合
7	その他 ※上記以外で、ご意見があればご記入ください。

4. あなたご自身のことについておたずねします

次の各項目について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

問 6	性 別	1 男性	2 女性	3 無回答
問 7	年 齢	1 18～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳
		4 40～49 歳	5 50～59 歳	6 60～69 歳
		7 70 歳以上		
問 8	お住まいの小学校 区について	1 斑鳩校区		2 石海校区
		3 太田校区		4 龍田校区
		※小学校区が分からない場合、お住まいの大字をご記入ください (大字)		
問 9	居住年数 (太子町内での通算の 居住年数)	1 5 年未満		2 5 年以上～10 年未満
		3 10 年以上 20 年未満		4 20 年以上
問 10	世帯構成	1 ひとり世帯		2 夫婦のみ世帯
		3 二世帯世帯(親と子)		4 三世帯世帯
		5 その他()		

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただきました本アンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
7 月 31 日(金)までに、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。
(アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。)

※回答用の QR コードを読み取り、スマートフォンでの回答も可能です。

【問合せ先】 太子町役場 総務部 財政課

〒671-1592 揖保郡太子町鵜 280 番地 1

TEL 079-277-5996 FAX:079-276-3892